



茨城県

茨城県景気ウォッチャー調査

(令和4年3月調査分)

《景気の現状判断DI》

	令和3年12月	令和4年3月	前回調査との差
茨城県	61.2	38.6	△22.6
県北地域	63.4	39.6	△23.8
県央地域	65.4	33.9	△31.5
鹿行地域	58.5	41.5	△17.0
県南地域	61.2	39.3	△21.9
県西地域	57.1	38.6	△18.5

《景気の先行き判断DI》

	令和3年12月	令和4年3月	前回調査との差
茨城県	52.2	46.6	△5.6
県北地域	50.0	43.9	△6.1
県央地域	55.3	49.1	△6.2
鹿行地域	50.5	49.1	△1.4
県南地域	55.4	47.3	△8.1
県西地域	50.0	43.4	△6.6

令和4年4月

茨城県政策企画部統計課

目 次

I	調査の概要	1
II	調査結果の概要	3
1	全県の動向	3
	(1) 景気の現状判断D I	3
	(2) 景気の先行き判断D I	4
2	地域別の動向	5
	(1) 景気の現状判断D I	5
	(2) 景気の先行き判断D I	8
III	景気の判断コメント	11
1	景気の現状判断コメント	11
2	景気の先行き判断コメント	21
3	その他の意見	31

問合せ先
茨城県統計課企画分析グループ TEL:029-301-2632
公式サイトのURL
<https://www.pref.ibaraki.jp/kikaku/tokei/fukyu/tokei/betsu/bukka/watch/index.html>

I 調査の概要

1 調査の目的

県内の事業所等において経済の第一線で働いている人々から、景気の現状や景気の先行き判断に関する生の情報を地域ごとに把握するとともに迅速に公表することで、県や市町村のきめ細かな施策立案や経済界におけるタイムリーな景気動向判断等の基礎資料とする。

2 調査の範囲

(1) 対象地域

県下全域を対象とする。また、全域を県北、県央、鹿行、県南及び県西の5地域に区分する。なお、各地域に含まれる市町村は以下のとおりである。

地域	市 町 村
県北地域	日立市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、ひたちなか市、常陸大宮市、那珂市、東海村、大子町
県央地域	水戸市、笠間市、小美玉市、茨城町、大洗町、城里町
鹿行地域	鹿嶋市、潮来市、神栖市、行方市、鉾田市
県南地域	土浦市、石岡市、龍ヶ崎市、取手市、牛久市、つくば市、守谷市、稲敷市、かすみがうら市、つくばみらい市、美浦村、阿見町、河内町、利根町
県西地域	古河市、結城市、下妻市、常総市、筑西市、坂東市、桜川市、八千代町、五霞町、境町

(2) 調査客体

家計動向、企業動向及び雇用動向を敏感に反映する業種に従事する者から、(1)で示した地域ごとに60名、計300名を調査客体とする。

業 種 名	具 体 例	県北 地域	県央 地域	鹿行 地域	県南 地域	県西 地域	合計
家計関連	小売業、飲食業、サービス業、住宅関連等	37	39	36	36	36	184
企業関連	製造業、建設業、金融業等	19	16	19	19	19	92
雇用関連	人材派遣業、公共職業安定所、求人広告業等	4	5	5	5	5	24
	計	60	60	60	60	60	300

3 有効回答率

地域	調査客体	回答数	回答率
全 県	300 人	278 人	92.7%
県北地域	60 人	53 人	88.3%
県央地域	60 人	56 人	93.3%
鹿行地域	60 人	56 人	93.3%
県南地域	60 人	56 人	93.3%
県西地域	60 人	57 人	95.0%

4 調査事項

- (1) 景気の現状に対する判断（方向性）
- (2) (1) のコメント（理由）
- (3) 景気の先行きに対する判断（方向性）
- (4) (3) のコメント（理由）
- (5) その他景気に関する意見（自由回答）

5 調査月及び調査期間

調査月は6月、9月、12月及び3月の年4回である。令和4年3月調査の調査期間は、令和4年3月5日から20日までである。

6 利用上の注意

- (1) D I (Diffusion Index) は景気の方性（景気が上向きか下向きか）をみるものであり、景気の水準を判断するものではない。
- (2) ウォッチャーの回答構成比は、小数第1位までの表示とし、表示単位未満の端数は四捨五入した。したがって、構成比の合計は100%とならない場合がある。

※DI(Diffusion Index)について

- 1 景気の現状及び景気の先行きに対する判断の回答区分は、以下のとおり5段階としているが、それぞれに点数化し、これらを各回答区分の構成比(%)に乗じて、景気の方性をみるための指標(DI)を算出している。

回答区分	良くなって いる	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪くなって いる
点数	+1	+0.75	+0.5	+0.25	0

- 2 具体例
回答者数100名で、回答内訳が以下の場合。

良くなって いる	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪くなって いる
15名	27名	25名	11名	22名

それぞれの回答構成比は、

良くなって いる	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪くなって いる
15.0%	27.0%	25.0%	11.0%	22.0%

したがって、DI値は、
(1点×15.0%) + (0.75点×27.0%) + (0.5点×25.0%) + (0.25点×11.0%)
+ (0点×22.0%) = 50.5となる。

この値は、全員が「変わらない」と回答した場合は50(=0.5点×100%)となることから、50を上回っているときは、景気は上昇局面にあり、50を下回っているときは、景気の下局面にあるといえる。

Ⅱ 調査結果の概要

1 全県の動向

(1) 景気の現状判断DI

景気の現状判断DIは38.6となった。令和3年12月調査（以下「前回調査」という。）より22.6ポイント低下し、横ばいを表す50を2期ぶりに下回った。

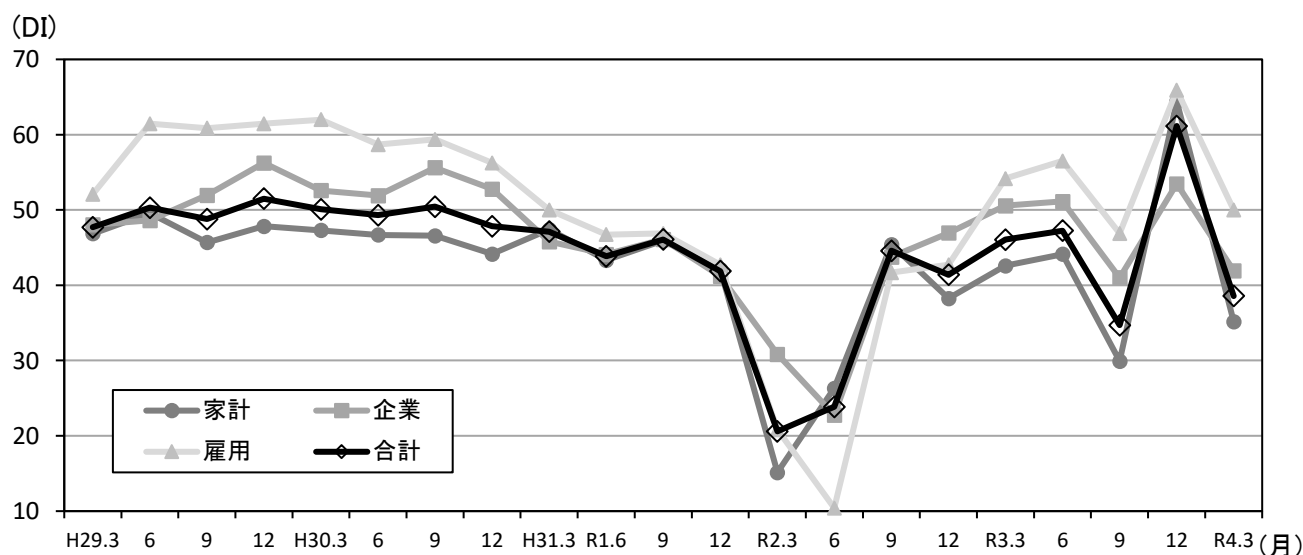
表1-1 景気の現状判断DI

分野	調査年月	令和3年 3月	令和3年 6月	令和3年 9月	令和3年 12月	令和4年 3月
合計		46.1	47.3	34.7	61.2	38.6
家計動向関連		42.6	44.1	29.9	64.4	35.2
小売関連		41.7	38.7	29.3	53.2	33.6
飲食関連		28.9	42.7	12.5	72.7	27.2
サービス関連		45.9	49.7	33.1	75.4	38.5
住宅関連		53.1	44.4	50.0	46.9	40.6
企業動向関連		50.6	51.1	41.0	53.5	42.0
農林水産業		50.0	54.2	45.8	57.1	34.4
製造業		51.6	49.5	38.5	53.1	41.7
非製造業		49.2	52.9	43.6	53.2	44.1
雇用関連		54.2	56.5	46.9	65.9	50.0

表1-2 回答構成比

	令和3年 3月	令和3年 6月	令和3年 9月	令和3年 12月	令和4年 3月
良くなっている	2.1%	4.5%	1.4%	14.4%	3.6%
やや良くなっている	26.1%	23.4%	8.9%	38.8%	15.1%
変わらない	38.6%	39.9%	40.5%	29.5%	30.9%
やや悪くなっている	20.4%	21.3%	25.4%	11.5%	32.7%
悪くなっている	12.9%	11.0%	23.7%	5.8%	17.6%

図1-1 景気の現状判断DIの推移



(2)景気の先行き判断DI

3か月先の景気の先行き判断DIは46.6となった。前回調査より5.6ポイント低下し、横ばいを表す50を5期ぶりに下回った。

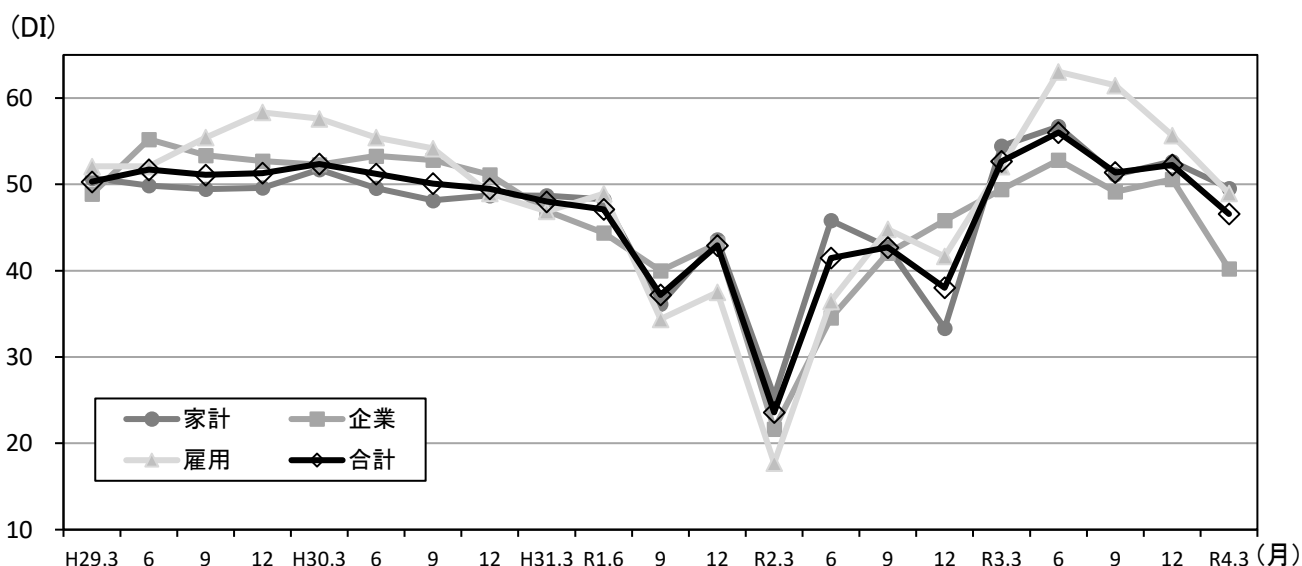
表1-3 景気の先行き判断DI

分野	調査年月	令和3年 3月	令和3年 6月	令和3年 9月	令和3年 12月	令和4年 3月
合計		52.7	56.0	51.4	52.2	46.6
家計動向関連		54.4	56.7	51.1	52.6	49.5
小売関連		51.4	52.1	48.6	49.6	48.4
飲食関連		55.3	58.3	46.6	58.0	46.6
サービス関連		57.2	63.7	56.8	54.7	52.1
住宅関連		53.1	30.6	33.3	46.9	43.8
企業動向関連		49.4	52.8	49.2	50.6	40.2
農林水産業		53.6	50.0	41.7	50.0	31.3
製造業		46.8	53.1	47.4	48.4	40.0
非製造業		52.3	52.9	52.9	54.0	42.6
雇用関連		52.1	63.0	61.5	55.7	49.0

表1-4 回答構成比

	令和3年 3月	令和3年 6月	令和3年 9月	令和3年 12月	令和4年 3月
良くなっている	4.3%	6.2%	4.1%	5.0%	2.9%
やや良くなっている	29.6%	35.7%	28.2%	29.5%	25.9%
変わらない	45.0%	40.5%	43.6%	41.7%	36.3%
やや悪くなっている	14.6%	11.0%	17.2%	16.9%	24.5%
悪くなっている	6.4%	6.5%	6.9%	6.8%	10.4%

図1-2 景気の先行き判断DIの推移



2 地域別の動向

(1)景気の現状判断DI

① 県北地域

景気の現状判断DIは39.6となった。前回調査より23.8ポイント低下して、横ばいを表す50を2期ぶりに下回った。

表2-1 景気の現状判断DI

分野	調査年月	令和3年 3月	令和3年 6月	令和3年 9月	令和3年 12月	令和4年 3月
合計		40.6	47.8	32.2	63.4	39.6
	家計動向関連	40.9	45.7	29.2	68.9	41.1
	企業動向関連	40.8	52.6	38.2	53.9	37.5
	雇用関連	37.5	41.7	31.3	62.5	37.5

表2-2 回答構成比

	令和3年 3月	令和3年 6月	令和3年 9月	令和3年 12月	令和4年 3月
良くなっている	1.8%	7.0%	1.7%	10.7%	1.9%
やや良くなっている	16.1%	22.8%	5.1%	48.2%	17.0%
変わらない	41.1%	31.6%	39.0%	28.6%	32.1%
やや悪くなっている	25.0%	31.6%	28.8%	8.9%	35.8%
悪くなっている	16.1%	7.0%	25.4%	3.6%	13.2%

② 県央地域

景気の現状判断DIは33.9となった。前回調査より31.5ポイント低下して、横ばいを表す50を2期ぶりに下回った。

表2-3 景気の現状判断DI

分野	調査年月	令和3年 3月	令和3年 6月	令和3年 9月	令和3年 12月	令和4年 3月
合計		50.4	45.4	34.2	65.4	33.9
	家計動向関連	52.1	44.2	29.6	70.5	27.7
	企業動向関連	51.7	46.9	39.3	51.8	44.6
	雇用関連	35.0	50.0	55.0	62.5	50.0

表2-4 回答構成比

	令和3年 3月	令和3年 6月	令和3年 9月	令和3年 12月	令和4年 3月
良くなっている	3.6%	3.3%	1.8%	19.3%	5.4%
やや良くなっている	30.4%	20.0%	10.5%	40.4%	14.3%
変わらない	42.9%	46.7%	40.4%	26.3%	16.1%
やや悪くなっている	10.7%	15.0%	17.5%	10.5%	39.3%
悪くなっている	12.5%	15.0%	29.8%	3.5%	25.0%

③ 鹿行地域

景気の現状判断DIは41.5となった。前回調査より17.0ポイント低下して、横ばいを表す50を2期ぶりに下回った。

表2-5 景気の現状判断DI

調査年月	令和3年 3月	令和3年 6月	令和3年 9月	令和3年 12月	令和4年 3月
分野					
合計	42.7	46.1	38.1	58.5	41.5
家計動向関連	35.0	41.4	32.9	60.9	36.0
企業動向関連	54.2	51.4	43.4	52.9	47.1
雇用関連	55.0	60.0	55.0	62.5	60.0

表2-6 回答構成比

	令和3年 3月	令和3年 6月	令和3年 9月	令和3年 12月	令和4年 3月
良くなっている	0.0%	3.4%	1.7%	9.4%	5.4%
やや良くなっている	22.4%	25.9%	16.9%	41.5%	16.1%
変わらない	37.9%	29.3%	33.9%	26.4%	26.8%
やや悪くなっている	27.6%	34.5%	27.1%	18.9%	42.9%
悪くなっている	12.1%	6.9%	20.3%	3.8%	8.9%

④ 県南地域

景気の現状判断DIは39.3となった。前回調査より21.9ポイント低下して、横ばいを表す50を2期ぶりに下回った。

表2-7 景気の現状判断DI

調査年月	令和3年 3月	令和3年 6月	令和3年 9月	令和3年 12月	令和4年 3月
分野					
合計	52.2	50.9	37.5	61.2	39.3
家計動向関連	48.5	51.4	33.8	62.9	38.3
企業動向関連	54.2	48.6	40.8	55.6	39.5
雇用関連	70.0	55.0	50.0	70.0	45.0

表2-8 回答構成比

	令和3年 3月	令和3年 6月	令和3年 9月	令和3年 12月	令和4年 3月
良くなっている	5.4%	6.9%	1.7%	21.4%	3.6%
やや良くなっている	30.4%	20.7%	5.2%	30.4%	14.3%
変わらない	42.9%	51.7%	48.3%	28.6%	37.5%
やや悪くなっている	10.7%	10.3%	31.0%	10.7%	25.0%
悪くなっている	10.7%	10.3%	13.8%	8.9%	19.6%

⑤ 県西地域

景気の現状判断DIは38.6となった。前回調査より18.5ポイント低下して、横ばいを表す50を2期ぶりに下回った。

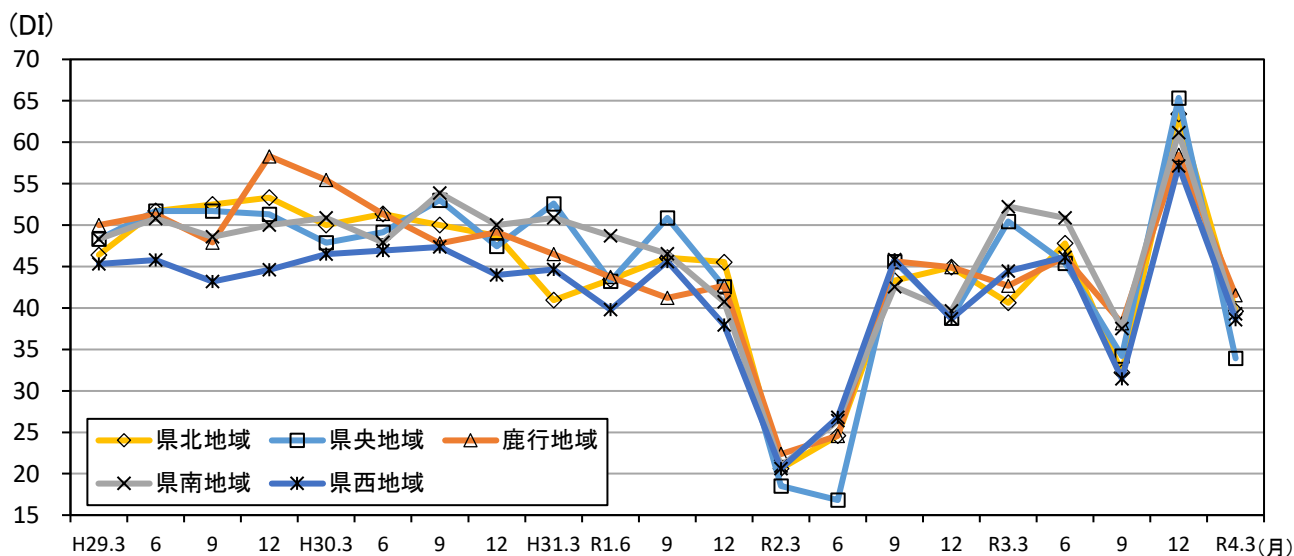
表2-9 景気の現状判断DI

分野	調査年月	令和3年 3月	令和3年 6月	令和3年 9月	令和3年 12月	令和4年 3月
合計		44.4	46.1	31.5	57.1	38.6
家計動向関連		35.9	37.9	24.3	57.6	34.1
企業動向関連		52.9	55.6	43.1	52.8	42.1
雇用関連		70.0	70.0	40.0	70.0	55.0

表2-10 回答構成比

	令和3年 3月	令和3年 6月	令和3年 9月	令和3年 12月	令和4年 3月
良くなっている	0.0%	1.7%	0.0%	10.7%	1.8%
やや良くなっている	31.5%	27.6%	6.9%	33.9%	14.0%
変わらない	27.8%	39.7%	41.4%	37.5%	42.1%
やや悪くなっている	27.8%	15.5%	22.4%	8.9%	21.1%
悪くなっている	13.0%	15.5%	29.3%	8.9%	21.1%

図2-1 地域別現状判断DIの推移



	H29.3	H29.6	H29.9	H29.12	H30.3	H30.6	H30.9	H30.12	H31.3	R1.6	R1.9	R1.12	R2.3	R2.6	R2.9	R2.12	R3.3	R3.6	R3.9	R3.12	R4.3月
県全体	47.7	50.3	48.8	51.5	50.1	49.3	50.4	47.8	47.1	43.8	46.1	41.9	20.6	23.8	44.6	41.4	46.1	47.3	34.7	61.2	38.6
県北	46.4	51.7	52.5	53.3	50.0	51.3	50.0	48.7	40.9	43.4	46.1	45.5	20.6	24.6	43.3	44.9	40.8	47.8	32.2	63.4	39.6
県中央	48.3	51.7	51.7	51.3	47.9	49.2	53.0	47.5	52.6	43.2	50.9	42.5	18.5	16.8	45.6	38.8	50.5	45.4	34.2	65.4	33.9
鹿行	50.0	51.3	47.9	58.3	55.5	51.3	47.8	49.1	46.5	43.8	41.2	42.7	22.4	24.6	45.6	44.9	42.7	46.1	38.1	58.5	41.5
県南	48.3	50.8	48.6	50.0	50.9	47.9	53.9	50.0	50.9	48.7	46.6	40.7	20.9	26.4	42.5	39.7	52.2	50.9	37.5	61.2	39.3
県西	45.3	45.8	43.2	44.6	46.5	46.9	47.4	44.0	44.6	39.8	45.6	37.9	20.6	26.8	45.8	38.7	44.4	46.1	31.5	57.1	38.6
全国	48.9	50.9	50.2	52.2	50.4	49.5	47.3	46.5	45.6	44.6	45.0	39.1	14.7	39.0	47.7	35.3	48.5	46.5	42.3	57.5	47.8(季節調整値)
	50.6	49.9	49.6	53.9	51.7	48.2	47.3	48.2	46.7	43.3	45.7	40.7	15.9	38.0	48.7	36.5	49.5	45.4	43.3	58.6	48.9(原数値)

(2)景気の先行き判断DI

① 県北地域

景気の先行き判断DIは43.9となった。前回調査より6.1ポイント低下して、横ばいを表す50を2期連続で下回った。

表2-11 景気の先行き判断DI

調査年月	令和3年 3月	令和3年 6月	令和3年 9月	令和3年 12月	令和4年 3月
分野					
合計	46.9	52.6	50.4	50.0	43.9
家計動向関連	50.8	55.0	51.4	53.8	46.0
企業動向関連	40.8	50.0	48.7	43.4	37.5
雇用関連	43.8	41.7	50.0	50.0	56.3

表2-12 回答構成比

	令和3年 3月	令和3年 6月	令和3年 9月	令和3年 12月	令和4年 3月
良くなっている	0.0%	5.3%	3.4%	3.6%	0.0%
やや良くなっている	28.6%	29.8%	27.1%	30.4%	26.4%
変わらない	39.3%	43.9%	40.7%	37.5%	32.1%
やや悪くなっている	23.2%	12.3%	25.4%	19.6%	32.1%
悪くなっている	8.9%	8.8%	3.4%	8.9%	9.4%

② 県央地域

景気の先行き判断DIは49.1となった。前回調査より6.2ポイント低下して、横ばいを表す50を5期ぶりに下回った。

表2-13 景気の先行き判断DI

調査年月	令和3年 3月	令和3年 6月	令和3年 9月	令和3年 12月	令和4年 3月
分野					
合計	58.9	57.5	51.8	55.3	49.1
家計動向関連	64.6	57.1	52.0	56.4	52.7
企業動向関連	53.3	57.8	46.4	50.0	42.9
雇用関連	35.0	60.0	65.0	62.5	40.0

表2-14 回答構成比

	令和3年 3月	令和3年 6月	令和3年 9月	令和3年 12月	令和4年 3月
良くなっている	1.8%	5.0%	1.8%	12.3%	1.8%
やや良くなっている	46.4%	43.3%	31.6%	28.1%	28.6%
変わらない	41.1%	36.7%	45.6%	35.1%	46.4%
やや悪くなっている	7.1%	6.7%	14.0%	17.5%	10.7%
悪くなっている	3.6%	8.3%	7.0%	7.0%	12.5%

③ 鹿行地域

景気の先行き判断D Iは49.1となった。前回調査より1.4ポイント低下して、横ばいを表す50を5期ぶりに下回った。

表2-15 景気の先行き判断DI

調査年月	令和3年 3月	令和3年 6月	令和3年 9月	令和3年 12月	令和4年 3月
分野					
合計	53.4	55.2	51.7	50.5	49.1
家計動向関連	51.4	53.6	49.3	48.4	50.0
企業動向関連	56.9	54.2	53.9	55.9	44.1
雇用関連	55.0	70.0	60.0	43.8	60.0

表2-16 回答構成比

	令和3年 3月	令和3年 6月	令和3年 9月	令和3年 12月	令和4年 3月
良くなっている	3.4%	1.7%	5.1%	0.0%	7.1%
やや良くなっている	25.9%	37.9%	30.5%	28.3%	26.8%
変わらない	51.7%	41.4%	35.6%	47.2%	28.6%
やや悪くなっている	19.0%	17.2%	23.7%	22.6%	30.4%
悪くなっている	0.0%	1.7%	5.1%	1.9%	7.1%

④ 県南地域

景気の先行き判断D Iは47.3となった。前回調査より8.1ポイント低下して、横ばいを表す50を5期ぶりに下回った。

表2-17 景気の先行き判断DI

調査年月	令和3年 3月	令和3年 6月	令和3年 9月	令和3年 12月	令和4年 3月
分野					
合計	53.6	59.9	55.6	55.4	47.3
家計動向関連	53.8	62.9	57.4	56.1	52.3
企業動向関連	50.0	52.8	48.7	52.8	39.5
雇用関連	65.0	65.0	70.0	60.0	45.0

表2-18 回答構成比

	令和3年 3月	令和3年 6月	令和3年 9月	令和3年 12月	令和4年 3月
良くなっている	10.7%	12.1%	5.2%	7.1%	5.4%
やや良くなっている	23.2%	32.8%	34.5%	35.7%	25.0%
変わらない	42.9%	41.4%	43.1%	37.5%	30.4%
やや悪くなっている	16.1%	10.3%	12.1%	10.7%	32.1%
悪くなっている	7.1%	3.4%	5.2%	8.9%	7.1%

⑤ 県西地域

景気の先行き判断DIは43.4となった。前回調査より6.6ポイント低下して、横ばいを表す50を2期ぶりに下回った。

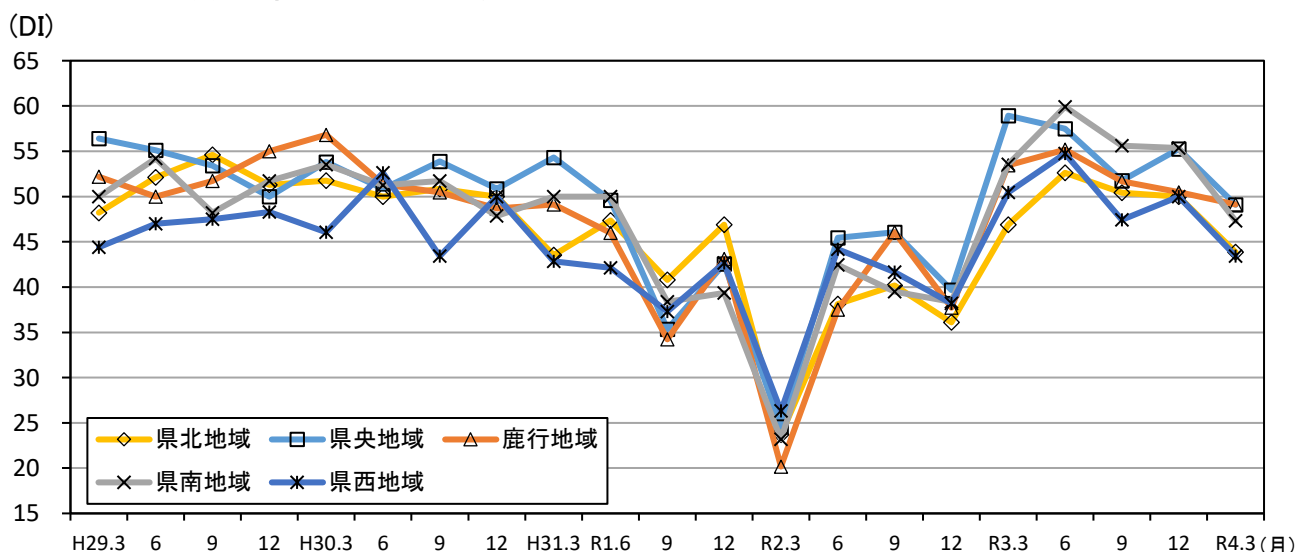
表2-19 景気の先行き判断DI

調査年月	令和3年 3月	令和3年 6月	令和3年 9月	令和3年 12月	令和4年 3月
分野					
合計	50.5	54.7	47.4	50.0	43.4
家計動向関連	50.8	55.0	45.7	47.7	46.2
企業動向関連	47.1	50.0	47.2	51.4	38.2
雇用関連	60.0	70.0	60.0	60.0	45.0

表2-20 回答構成比

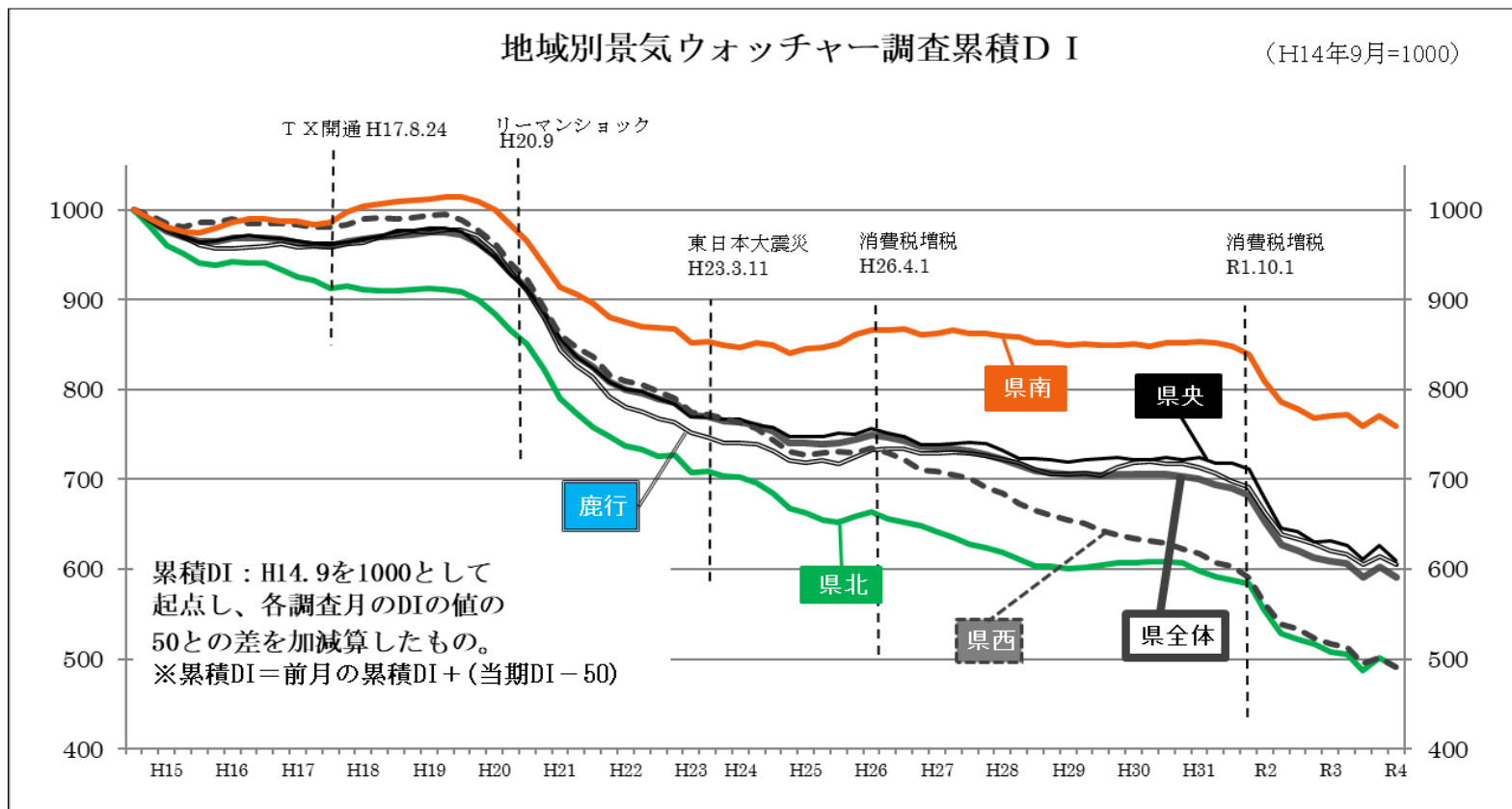
	令和3年 3月	令和3年 6月	令和3年 9月	令和3年 12月	令和4年 3月
良くなっている	5.6%	6.9%	5.2%	1.8%	0.0%
やや良くなっている	24.1%	34.5%	17.2%	25.0%	22.8%
変わらない	50.0%	39.7%	53.4%	51.8%	43.9%
やや悪くなっている	7.4%	8.6%	10.3%	14.3%	17.5%
悪くなっている	13.0%	10.3%	13.8%	7.1%	15.8%

図2-2 地域別先行き判断DIの推移



	H29.3	H29.6	H29.9	H29.12	H30.3	H30.6	H30.9	H30.12	H31.3	R1.6	R1.9	R1.12	R2.3	R2.6	R2.9	R2.12	R3.3	R3.6	R3.9	R3.12	R4.3月
県全体	50.3	51.7	51.1	51.3	52.4	51.2	50.1	49.5	48.0	47.1	37.2	42.9	23.6	41.5	42.7	38.0	52.7	56.0	51.4	52.2	46.6
県北	48.2	52.1	54.6	51.3	51.8	50.0	50.9	50.0	43.5	47.4	40.8	46.9	23.7	38.1	40.2	36.1	47.4	52.6	50.4	50.0	43.9
県央	56.4	55.1	53.4	50.0	53.8	50.8	53.9	50.8	54.3	49.6	35.3	42.5	24.6	45.5	46.1	39.7	58.6	57.5	51.8	55.3	49.1
鹿行	52.2	50.0	51.7	55.0	56.8	51.3	50.4	48.7	49.1	46.0	34.2	43.1	20.2	37.5	46.1	37.7	53.4	55.2	51.7	50.5	49.1
県南	50.0	54.2	48.2	51.7	53.5	51.3	51.7	47.8	50.0	50.0	38.4	39.4	23.2	42.5	39.5	38.4	53.6	59.9	55.6	55.4	47.3
県西	44.4	47.0	47.5	48.3	46.1	52.6	43.4	50.0	42.9	42.1	37.3	42.7	26.3	44.2	41.7	38.2	50.5	54.7	47.4	50.0	43.4
全国	49.5	50.7	51.0	52.0	50.9	50.1	51.1	47.7	49.2	45.3	36.8	45.3	20.1	43.5	47.1	36.9	50.2	51.1	56.6	50.3	50.1(季節調整値)
	49.0	51.5	50.4	51.3	50.1	50.9	50.7	47.0	47.9	46.3	36.7	44.5	18.7	44.8	47.1	36.1	48.6	52.6	56.7	49.5	48.4(原数値)

(参考) 地域別累積DI



III 景気の判断コメント — 1 景気の現状判断コメント

(1) 県北地域 【現状】

回答	分野	業種・職種	コメント
良	家計	住宅販売会社	住宅業だが、資材高騰があるので、その分今から建てないと価格が上がってしまうため早めに建てる方が多くなったことにより、良くなっていると判断した。
やや良くなっている	家計	小売業(弁当・惣菜店)	休日の人流はまだだと感じるが、平日の人流はかなり回復したとを感じるため、やや良くなっていると判断した。
		日本料理店	少しずつ客が増えているため、やや良くなっていると判断した。
		観光型ホテル	まん延防止等重点措置の発令期間中であるにも関わらず、前年度同月比で25%ほど予約数が増え続けているため、やや良くなっていると判断した。
		タクシー運転手	12月頃に比べると高齢者の外出が増えてきていると思う。若干良くなっているように思う。
		ゴルフ場	人の流れが多くなった気がするため、やや良くなっていると判断した。
		ゴルフ場	この先、数か月程度の予約進捗が順調なため、やや良くなっていると判断した。
		写真店	対前年比売上げは上昇しているため、やや良くなっていると判断した。
	企業	製造業(電気機械器具)	液晶・半導体製造装置関連において受注や引合いが前回より増え、仕事を別部門にシフトしたり派遣社員の増員を行っているため、やや良くなっていると判断した。
		製造業(精密機器)	普段問い合わせが来ないところからも引き合いがきているため、やや良くなっていると判断した。
変わらない	家計	商店街代表者	新型コロナウイルスの影響により人通りが少ない状態が続いているため、変わらないと判断した。商談など、人との接触が思うようにできない。
		スーパー	特売で安くなっている商品でも、必要のないものは買わなくなっている傾向が継続しているため、変わらないと判断した。
		スーパー	大感謝祭の価格出しの際に商品の価格が上がる前だったため、買いだめなどの動きがあったりしたので分かりづらかったが、以前の購入の仕方になっている気がする。
		衣料品販売店	来客数、売上高が増えないため変わらないと判断した。
		小売業(水産物)	まん延防止等重点措置の影響なのか分からないが、来客者数が横ばいのため、変わらないと判断した。
		小売業(時計)	グローバルな世の中での問題もあるが、3か月前に比べてあまり変わらないと思
		タクシー運転手	3月現在、県内でまん延防止等重点措置が発令中である。飲食店関係の受注がほとんどない状態で仕事量が激減状態だ。このようなことから、現状維持が精一杯かと思われるため、変わらないと判断した。
		ゴルフ場	生活用品のそのほとんどが値上がりしているせいか、他所で余計なものは使わない様子が見受けられる。
	写真店	新型コロナウイルスの状況が良くなっていないため、変わらないと判断した。	
	企業	林業関係者	3か月前と比べると景気事態好調を維持しているとみている。製品や素材の流動を見ても大きく、良い意味で変わらないと感じている。
製造業(化学工業)		まん延防止等重点措置が発令されてから、登り基調だった経済が停滞した。	
製造業(電気機械器具)		3か月前と同様に受注及び生産が出来ているため、変わらないと判断した。	
製造業(精密機器)		コロナ禍でまだ以前のように仕事が進まないため、変わらないと判断した。	
運輸業		顧客製品の出荷台数も横ばいで、それほど変わらない状況である。	
運輸業(精密機器運送)	季節的要因で多少は忙しくなっている気がするが、それを除くと景気が良くなっているとはいえないため、変わらないと判断した。		

変わらない	雇用	公共職業安定所	製造業について需要はあるが、資材調達が滞っているため安定供給に支障をきたしている。自動車用金属部品製造、エレベーター・エスカレーター製造、家電電子部品製造業においては半導体不足による生産が停滞するなどの影響が出ている。作業量は回復傾向にあるが、材料、電力、原油価格の高騰により利益に繋がらず人員不足している感はあるものの雇用を躊躇している。
		求人開拓員	年度末のためか企業からの求人数も少なく、求職者の数も減少ぎみである。
やや悪くなっている	家計	自動車販売店	コロナ禍による半導体不足、原油高騰、ウクライナ問題と地球規模で状況悪化していて、景気がいい訳がないため、やや悪くなっていると判断した。
		レストラン	新型コロナウイルスで外へ出かけられないようになっているため、やや悪くなっていると判断した。ウクライナの問題もあるかもしれない。
		日本料理店	ガソリン価格の高止まりの影響か、依然として遠方からの来店が減っているように感じる。また、客単価がわずかだが下がっているため、やや悪くなっていると判断した。
		食堂	まん延防止等重点措置による来客数の減少、仕入れ価格高騰により原価上昇による利益の圧迫のため、やや悪くなっていると判断した。
		観光型ホテル	新型コロナウイルスの影響で人出が少ないため、やや悪くなっていると判断した。
		ドライブイン	客単価昨対は変わらないが、12月は売上げ客数ともに昨対90%だったのに対し3月は昨対78%と落ち込んだため、やや悪くなっていると判断した。
		レジャー施設	新型コロナウイルスの感染者数が増加しており、その影響があると感じるため、やや悪くなっていると判断した。
		ボウリング場	12月は前年対比超えに対し、現在は8割程度の状況なので、やや悪くなっていると判断した。
	企業	製造業（食料品）	売上げが減少しているため、やや悪くなっていると判断した。
		製造業（電気機械器具）	株価などの日本経済の指標は改善している部分があるものの、原油価格の高騰など生活に直結する部分への影響が悪化しており、景気が良くなっているとは言い難い。
		製造業（食料品）	原料資材の値上げにより製品も値上げしたため消費が落ちたので、やや悪くなっていると判断した。
		製造業（一般機械器具）	3か月前、並びに前年同月と比較しても製品の発送数が下がっている状況のため、やや悪くなっていると判断した。
		製造業（輸送用機械器具）	半導体供給不足、半導体の値上げ、材料市況の高騰、高値継続が予測され依然として厳しい状況にあり、売上げ並びに業績悪化の懸念が継続されるため、やや悪くなっていると判断した。
		建設業	例年この時期は繁忙期なので活発な動きがあるように感じるが、今年は特に資材の高騰、品物不足等が著しいのと、生活に関連する物の値上がりがあり、消費は低迷すると思われる。企業によっては設備投資の時期を見直すとの話も聞くので、景気はやや悪くなっていると判断した。
金融業		まん延防止等重点措置が発出された影響から、飲食サービス業については回復基調にあった客数が再び減少している。製造業については、地元大手製造業からの受注が減少しているため、やや悪くなっていると判断した。	
不動産業		不動産業界の景気観は変わらないが、注文住宅・建売業界においては、原油高・木材の高騰・各住宅設備機器の値上げが相次ぎ、一戸建ての注文住宅価格は、200万ほど値上げせざるをえない状況となった。当然ながら一般消費者にとっては、数百万単位の値上げに敏感になっており、注文住宅・建売の販売への影響は大きいと感じるため、やや悪くなっていると判断した。	
雇用	情報通信業（情報サービス業）	オミクロン株の流行やウクライナ情勢、物価の高騰など良い話題がなく、不透明感が増しているため、やや悪くなっていると判断した。	
	求人広告	新型コロナウイルスやロシア問題などのマイナス感が景気にも表れているため、やや悪くなっていると判断した。	
悪くなっている	家計	学校就業関係者	以前は、学生の求人問合せが製造業を中心に企業から毎週数回あったが、最近はそれがほとんどなくなったため、やや悪くなっていると判断した。
		スーパー	チラシ広告商品の特に安い商品を買って求める客で、初めての客やしばらく来店していない客が増加している。他社のチラシも一緒に持ってきて比較しながら、その商品のみ購入の客も見られる。当然客単価は下がっているため、悪くなっていると判断した。
		酒・各種商品小売業	まん延防止等重点措置の影響で夜の飲食店のほとんどが営業してないため、当然当店の売上げも激減しているため悪くなっていると判断した。
		小売業（酒類）	新型コロナウイルスの影響により、今月もまん延防止等重点措置のため時短営業になり、商売に大きな影響があるため、悪くなっていると判断した。
		スナック	新型コロナウイルスの感染予防で歩く人が少ないため、悪くなっていると判断した。
		旅行代理店	3か月前は新型コロナウイルスの感染者数の減少とともに、一般貸切を中心に受注が回復傾向にあったが、現在は新型コロナウイルス新規感染者の増加に伴うまん延防止等重点措置でキャンセルが相次ぎ、旅行など団体での外出を控える傾向が強いため、悪くなっていると判断した。
		タクシー運転手	ロシアのウクライナ侵攻で物価高などが進行して消費性向が低め。新型コロナウイルス感染拡大とまん延防止等重点措置の延長で外出自粛、外出控えでタクシー利用減少のため、悪くなっていると判断した。
企業	水産業関係者	全般的な物価上昇だけではない不買傾向を感じるため悪くなっていると判断した。	

(2) 県央地域 【現状】

回答	分野	業種・職種	コメント
良くなっている	家計	ペット美容室	暖かくなってきたので季節要因が大きいと思うが、この時期レジャー費などの出費が抑えられているためか、良くなっていると判断した。
	企業	製造業(精密機械器具)	3月決算期のエンドユーザーが多数を占めるので、予算達成の関係から当月発注、売上げに繋がった。また、2月売上げで部材不足があり3月売上げにシフトしたものがあため、良くなっていると判断した。
	雇用	公共職業安定所	有効求人数は対前年度同月比3か月連続でプラスとなっている。また有効求人倍率は対前年度同月比で8か月連続でプラスとなっているため、良くなっていると判断した。
やや良くなっている	家計	スーパー	まん延防止等重点措置で、若干夕方から夜間の客数増が見られるため、やや良くなっていると判断した。
		コンビニエンスストア	継続的にコロナ禍であり、客は店の使い分けをしているが、一回あたりの購入額が高い傾向が強くなっているため、やや良くなっていると判断した。
		レストラン	まん延防止等重点措置の解除により、やや良くなっていると判断した。
		都市型ホテル	個人利用客が回復傾向にあるため、やや良くなっていると判断した。
	企業	農業関係者	新型コロナウイルスの影響もあるが、日常生活が戻りつつあると思うので、やや良くなっていると判断した。
		製造業(窯業・土石製品)	毎年の事だが、3月は毎年墓石の受注があり、3か月前と比較すると一時的に受注があるため、やや良くなっていると判断した。
		建設業	不安感の中にも、これだけはと選択購買のためか、やや良くなっていると判断した。
雇用	人材派遣業	受注も増え、売上げも向上しているため、やや良くなっていると判断した。	
変わらない	家計	割烹料理店	まん延防止等重点措置が継続しているため、どうしても来店客が増えないので変わらないと判断した。
		理・美容店	卒業式のシーズンではあるが、去年に続きあまり忙しさは感じられない。
		設計事務所	まん延防止等重点措置の延長に伴い、引き合いの数も少ない。イベントも予定はあれど中止、延期になり街に賑わいが戻らないため変わらないと判断した。
		設計事務所	このところの建築工事費の増加や給湯器などの納入時期が不安定なため、住宅などでは計画を延期するところもあり、従前と同様の受注状態のため変わらないと判断した。
	企業	製造業(一般機械器具)	建設機械や半導体関連の仕事は出ているが、自動車関連の仕事は少ないため、変わらないと判断した。
		運輸業(道路貨物運送業)	現在取扱いしている保管・輸送貨物については、需要に伴う物流というよりも、停滞により発生していると感じているため、変わらないと判断した。
		金融業	新型コロナウイルスの第6波が猛威を振るっており、飲食業界はまだ冷え切った感が継続している。団体での予約は殆どない。一方では、ウィズコロナとして創意工夫しながら営業している業種もあり、設備資金の案件も見られる。
		サービス業(コンサルタント業)	変化がない。
雇用	求人開拓員	当所を利用する求職者数及び求人件数に大きな変化は見られない。	
やや悪くなっている	家計	商店街代表者	売上げ・来店客数とも減少しているため、やや悪くなっていると判断した。
		小売業	今月は、卒業・入学・新社会人等新生活に向けた準備・春のモチベーション需要の高まりを期待したが、まん延防止等重点措置適用期間の延長を受けて、入店客数が伸びていない。ウクライナ危機勃発により物価上昇機運も高まっていることから、大衆層の反応が鈍い状況である。3か月前と比べると今月の進捗状況がやや失速していることから、景気はやや悪くなっていると判断した。
		小売業	3か月前は新型コロナウイルスの感染者数も落ち着きが見られ、客の行動も活発化してきたが、すぐに県内感染が拡大していき、消費活動が鈍化の方向になり、現状的には下向きであるためやや悪くなっていると判断した。
		スーパー	客単価は前月よりは良くなっている。新型コロナウイルスの感染者が増え、自宅での療養者が多くなっているためまとめ買いしている傾向もある。新型コロナウイルスが落ち着いてくれば外食も増えてくるので、この先はやや悪くなっていると思われる。
		スーパー	3か月前(12月・1月)と比較すると季節の違いがあるが、まん延防止等重点措置及びコロナウイルス感染者増の影響もあり景気は悪くなっていると思う。
		コンビニエンスストア	オミクロン株の感染の拡大による感染者の増加や、まん延防止等重点措置の適用が外出等、人の流れに悪影響を与えたと考えられるため、やや悪くなっていると判断した。
		農産物直売所	この1か月位、商品券やギフト商品の動きが悪くなったり、駐車場の車のナンバーを見ると遠方からの来店客が減っているため、やや悪くなっていると判断した。
レストラン	まん延防止等重点措置により人の動きが少なくなった。宴会やグループでの会食もほとんどなく客単価も下がっているため、やや悪くなっていると判断した。		

やや悪くなっている	家計	旅行代理店	オミクロン株の影響により、やや悪くなっていると判断した。
		バス運転手	1月以降、新たな変異株の急激な感染拡大により、不要不急の外出を控えるよう要請されたことにより、高速バスや貸切バスの利用客が減ったため、やや悪くなっていると判断した。
		タクシー運転手	まん延防止等重点措置が今まで何回出たのか分からないが、今回はタクシー業界にとって非常に厳しい状況を作り出しているため、やや悪くなっていると判断した。
		タクシー会社	まん延防止等重点措置の影響で、営業回数・売上げ共に減少しているため、やや悪くなっていると判断した。
		タクシー会社	人流制限や飲食店の時短営業等により、顧客の動向変化があり行動パターンが変わってしまっている。また、企業の勤務内容の変化・対応も変わってインターネットを活用した就労に変化し、人流抑制による景気低迷は厳しいものがあり、企業収益を直撃している。企業も一般家庭も、現状の流れを注視して必要最小限での出費に徹しているため、やや悪くなっていると判断した。
		観光名所	長引く自粛ムードはかなり影響しており売上げが減少している。3か月前と比較して、景気はやや悪くなっていると思う。
		スーパー銭湯	2021年11月の来館者数一日平均に対し、2022年2月平均は94%、さらに3月第2週までの平均は91%となった。日曜日の来館者動向は良いものの土曜日の回復が遅れている。以上の理由からやや悪くなっていると判断した。
		スーパー銭湯	まん延防止等重点措置による時短制限があり、飲食での利用制限があるため、やや悪くなっていると判断した。
		レジャー施設	ボート・ヨット専用の燃料を販売しているが、燃料費が高騰し、燃料販売数量が減少しているため、やや悪くなっていると判断した。
企業	製造業(印刷・同関連業)	コロナ禍のまん延防止等重点措置期間であり、思うように営業展開が出来ていないため、やや悪くなっていると判断した。	
	製造業(印刷・同関連業)	新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けていると感じる。まだまだ人の動きもなく経済が動いていないと感じるため、やや悪くなっていると判断した。	
	不動産業	戦争が起きたことで株価が下がり、客の中でも損をってしまった方が多数いるので、やや悪くなっていると判断した。	
	工務店	本業の受注、売上げ、見積りの依頼件数等が減少しているため、やや悪くなっていると判断した。	
雇用	学校就業関係者	コロナ禍の収束見通しが立たず、ウクライナ情勢もあり様々な物価が高騰しているため、やや悪くなっていると判断した。	
悪くなっている	家計	小売業	長引くまん延防止等重点措置の適用により客足がめっきり減っているため、悪くなっていると判断した。
		スーパー	まん延防止等重点措置で飲食店の酒の動きが悪くなっているため、悪くなっていると判断した。
		自動車販売店	新型コロナウイルスの拡大、株価不安定、ロシア・ウクライナ問題、ガソリン高、半導体不足等が大きく影響し、悪くなっていると判断した。
		楽器販売	半導体不足が未だ解決せず、商品入荷がとでも遅れている。また正月明けからの新型コロナウイルスの拡大で、我々のような必需品ではない商品取り扱いの業務は、消費行動の面からも後回しになっているような感じがあるため、悪くなっていると判断した。
		レストラン	新型コロナウイルスの感染者数の増加により、ほとんどの集宴会がキャンセルとなっているため悪くなっていると判断した。
		都市型ホテル	各企業、職種に関係なく会合等の開催を控えているとの話が多く予約もかなり落ち込んでいる。個人での利用は若干ずつ戻ってはいるが、全体では悪化している。
		観光型ホテル	新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、予約が減っているため悪くなっていると判断した。
		旅行会社	新型コロナウイルスの影響で旅行する客がいない。修学旅行や遠足もキャンセルばかりなので悪くなっていると判断した。
		道の駅	新型コロナウイルスの感染拡大で人の移動の減少・消費控え、コロナ禍による流通の滞りによる物価高。現在のロシア・ウクライナ紛争などまだまだ悪くなる要因がある。
		レジャー施設	2月から新型コロナウイルスの拡大に伴い、まん延防止等重点措置が茨城県にも適用されたため、秋から回復してきた入場者数が落ち込み、景気は悪くなっていると判断した。
企業	製造業(食料品)	新型コロナウイルスによる影響により悪くなっていると判断した。	
	建設業	コロナ禍もあると思うが先が見えず、今年は特に暗い感じがある。資材の高騰、納期の長期化と良い事はない。	
雇用	求人広告	ウクライナの情勢、物価高騰などから悪くなっていると判断した。	

(3) 鹿行地域 【現状】

回答	分野	業種・職種	コメント	
良	企業	製造業（精密機械器具）	12月と比べると今月の売上げの伸び率が良くなっているため、景気は良くなっていると判断した。	
		運輸業（道路貨物運送業）	前年対比率が微増ではあるが上昇してきているため、良くなっていると判断した。	
	雇用	民間職業紹介業	企業からの受注も増えてきているため、良くなっていると判断した。	
やや良くなっている	家計	スーパー	コロナ禍のまん延防止等重点措置により、外食産業の消費がスーパーに流れており、特需状態が続いている。また、青果物の相場高や各種値上により、一品単価が微増となっているためやや良くなっていると判断した。	
		コンビニエンスストア	新型コロナウイルスの影響も落ち着き、客の利用が増えて来たため、やや良くなっていると判断した。	
		観光型ホテル	利用者が少し増え出したため、やや良くなっていると判断した。	
		都市型ホテル	新型コロナウイルスも落ち着いてきた。ビジネスや合宿の利用もあるので、やや良くなっていると判断する。	
		道の駅	コロナ禍であっても一般客の利用者の増加が見受けられるため、やや良くなっていると判断した。	
		クリーニング店	今月は卒業や異動の時期であり例年と同様。他の月よりは、来客数は少し多くなっているが新型コロナウイルスの影響は続いている。	
	企業	製造業（食料品）	巣ごもり需要の減少が続いた中で水揚げの鯖漁低迷による魚価高となったところへ燃料費高騰、調味料及び各種資材費の上昇等が重なり、4月以降の水産缶詰の価格アップ改定が各社から発表されたことで当月の駆け込み需要発生となり、直近3か月比較で大幅増となっているが価格改定後の販売低迷が懸念される。	
	雇用	人材派遣業	客先においても忙しさがあり、弊社への受注も上向いているため、やや良くなっていると判断した。	
		公共職業安定所	主力の鉄鋼業の受注増から関連会社等からの求人が増加していることに加え、請負会社からも人手不足等から求人が増加している。また、小売等の接客関係の求人も回復傾向が見られるため、やや良くなっていると判断した。	
	変わらない	家計	商店街代表者	新型コロナウイルスの影響は、オミクロン株の出現により当地域においても拡大傾向が続いており、重症化の度合いが低いと言われているが、自制をしながらの生活が浸透しているため、前回と変化があるように感じていない。
			農産物直売所	昨年から引き続き、新型コロナウイルスの影響で来客数はやや減少傾向。ただし、全てにおいて物価が上昇しているため売上げは横ばいのため、変わらないと判断した。
小売業（菓子類）			今月の売上げの対前年比と、3か月前の前年比がほとんど同じなので、変わらないと判断した。	
小売業（薬品店）			売上げ高が前年比で同程度のため、変わらないと判断した。	
ゴルフ場			変化を感じない及び情報が掴みにくいため、変わらないと判断した。	
企業		製造業（化学工業）	生産状況は3か月前と比べ今月も大きな増減がないことから、景気は横ばい状態が続き変わらないと判断する。	
		製造業（ゴム製品）	注文量から変わらないと判断した。	
		製造業（鉄鋼業）	経営環境は良い状況が続いているが、好転の要素は感じ取れないため、変わらないと判断した。	
		建設業	景気に左右されない業務を担当しているため、変わらないと判断した。	
		建設業	新型コロナウイルスの影響で消費者の購入意欲が低下しており、観光業、飲食業、建設業等への影響がある。	
		サービス業	オミクロン株による新型コロナウイルスの再流行によって移動の制限がなされているが、ベータ株流行時に比較すると動きは出ているようである。また、今年は例年に比べて引合が集中しており繁忙感はあるが、収益面ではコロナ禍前には戻っていないため、変わらないと判断した。	

やや悪くなっている	家計	コンビニエンスストア	まん延防止等重点措置で外食が時短営業になっているにもかかわらず、店舗の売上げが昨年より下がっているため、やや悪くなっていると判断した。
		衣料品販売店	ガソリン、灯油を始め、あらゆるものが値上がりしている現状。生活はどんどん厳しくなっているため、やや悪くなっていると判断した。
		家電販売店	新型コロナウイルスの感染状況が以前にも増して悪化しており、現状改善が見られないため、やや悪くなっていると判断した。
		農産物直売所	客数が通常の8割になったため、やや悪くなっていると判断した。
		小売業（薬品店）	新型コロナウイルスの影響により受診抑制・薬の長期投与があり、月を追うごとに患者が減っているため、やや悪くなっていると判断した。
		小売業（食品）	動きが全体的に悪いため、やや悪くなっていると判断した。
		和食レストラン	まん延防止等重点措置の影響で、営業時間の短縮、酒類の提供中止、人数制限等があり、売上げが減少しているためやや悪くなっていると判断した。
		洋食食堂	時短営業が続いており、閉塞感が蔓延しているため、やや悪くなっていると判断した。
		割烹料理店	例年だと歓送迎会の予約が入るが、時短営業や休業で売上げが確保出来ないため、やや悪くなっていると判断した。
		観光型ホテル	3か月前と比較して、いば旅あんしん割が中止となったこともあり、予約が減少し休館日が増えたことから、やや景気はやや悪くなっていると思う。
		旅行代理店	まん延防止等重点措置が発令されて、旅行需要がなくなってしまったため、やや悪くなっていると判断した。
		タクシー運転手	現状ではやや悪くなっているように思う。景気がまだ回復していないのにオミクロン株の打撃が大きい。客足も遠のいているように感じる。マスクを着用しなくても仕事ができるような日々が来なければ、景気は回復しない。
		ゴルフ場	気温の低い日が続いたことやまん延防止等重点措置により以前よりも外出に慎重になっていると思われ、来場者数が減少傾向にあるため、やや悪くなっていると判断した。
		レジャー施設	新型コロナウイルスの感染拡大、感染者の高止まり、まん延防止等重点措置適用などの影響により景気はやや悪くなっている。原油価格の高騰、光熱費及び石油製品等の値上げにより更に悪化すると思われる。
住宅販売会社	貸家、アパートの入居率が落ちている。問合せ及び入居する物件が安い価格帯に限られるため、やや悪くなっていると判断した。		
企業	農業関係者	原油高や原材料の高騰で、農業関連資材が上がってきており、経費がかかっているが、農産物の販売単価にはそれほど上乗せになることは現在はないため、やや悪くなっていると判断した。	
	製造業（電気機械器具）	主力の自動車部分品の落ち込みが激しいため、やや悪くなっていると判断した。	
	運輸業（道路貨物運送業）	燃料の高騰により、やや悪くなっていると判断した。	
	金融業	まん延防止等重点措置の延長に伴い、飲食業を中心に売上げが低迷している。また、原油価格の高騰により燃料費も上昇しているが、運送業などでは運賃単価に転嫁出来ておらず、経営を圧迫しているため、やや悪くなっていると判断した。	
	保険業	飲食店、文具店、洋品店の売上げが減少しているため、やや悪くなっていると判断した。	
	不動産業	建設用資材が上がって予算がだいぶオーバー気味である。これからいろいろな面でインフラが起ってくるようだ。居酒屋、飲食店も客がだいぶ少ないようなので、やや悪くなっていると判断した。	
サービス業（会計事務所）	燃料費の高騰や食料品等の値上げが相次いでいるため、やや悪くなっていると判断した。		
雇用	学校就業関係者	ガソリン、金属材料等の価格高騰が気になるので、やや悪くなっていると判断した。	
	求人開拓員	事業所より求人を出したいとの連絡をいただき事業所訪問。建設関係の業者であり、経験者を希望とのこと。賃金条件等を確認後求人票を作成。事業所の了解をいただきUPするも、応募者がいないとのこと。後に何度か内容を変えるも一人しか応募がないとのこと。面接するも賃金面で折り合いつかず断念。多少の仕事は回ってくるも、諸材料の値上がり等で受注に至らず。新型コロナウイルス等の感染も収まらない等、良くなる条件が見出せない。	
悪くなっている	家計	小売業	1月頃から、新型コロナウイルスの感染数が爆発的に増えて、現在も3月21日までまん延防止等重点措置の期限となっている。人の流れが止まれば、お金の流れも止まる。また、ロシアのウクライナ侵攻による悪影響も重なり景気が悪くなっていると感じる。
		小売業（書店）	新型コロナウイルスの影響で客足が鈍くなっている。学生が出歩かなくなっているため、悪くなっていると判断した。
		日本料理店	まん延防止等重点措置のため、自粛ムードと人数制限があるため悪くなっていると判断した。
		運転代行	異動の時期でありながら、新型コロナウイルスの影響で3か月前と比較し伸び率が非常に悪くなっているため、景気は悪くなっていると判断した。
		住宅販売会社	ウッドショックにより見積り金額が上がってしまい競合他社との金額勝負になり、大手ローコスト住宅には勝てなくなってきたため、悪くなっていると判断した。

(4) 県南地域 【現状】

回答	分野	業種・職種	コメント
良	家計	レジャー施設	売上げ単価が伸びているため、良くなっていると判断した。
	企業	建設業	3月は年度末であり、公共工事の受注がいつもより多いのは毎年のことである。3か月前は公共工事だけだったが、今月は民間工事で年度明けでもいいからと数件の工事受注があった。よって、景気は良くなっていると思う。
やや良くなっている	家計	小売業（生花店）	季節需要が出てきたため、やや良くなっていると判断した。
		和食食堂	まん延防止等重点措置の最中だが、売上げは回復してきているため、やや良くなっていると判断した。新型コロナウイルスに慣れてきているのではないか。
		都市型ホテル	新型コロナウイルスの影響はある。以前のデルタ株の時に比べオミクロン株の方が感染者は多いと思われるが、その割には客の利用が多くなり、景気の状態は少しずつだが上向いてきている。あちこちで感染者や濃厚接触者がいるにもかかわらず客が増加傾向にあるのは、社会全体が新型コロナウイルスと共存するようになったからだと思われる。
		ゴルフ場	コロナ禍で自粛していた、例年この時期に開催しているコンペが、小規模（4～10組）ながら復活開催されるようになったため、やや良くなっていると判断した。
		理・美容店	子供はPCR検査でオミクロン陽性でも重症化には至らず、経済活動にも影響が少なくなってきたと思うため、やや良くなっていると判断した。
	企業	製造業（その他）	取引業者の注文が増えているため、やや良くなっていると判断した。
		不動産業	不動産賃貸管理で季節要因の影響の大きい仕事だが、少し良くなっている感じがする。
	雇用	民間職業紹介業	生産量が増加傾向にあるため、やや良くなっていると判断した。
変わらない	家計	スーパー	売上げや客数の伸びがない。原価が上がったため商品単価も上がったが、買上げ点数は変化がないため、変わらないと判断した。
		コンビニエンスストア	新型コロナウイルスの感染者数があまり変わらず、人流は増えているが買控えされている。原油価格高騰に伴って財布の紐が固くなっているため、3か月前と比較しても変わらないのと思う。
		農産物直売所	売上げは横ばい。客もリピーターが多く、決まった買物が多い。
		洋食食堂	予約をいただいている客に特別変化が見られないし、アルコールの注文はないが、料理はどちらかというと客単価が上がっている。
		タクシー運転手	新型コロナウイルスの影響が続いているため変わらないと判断した。
		ゴルフ場	季節的な要因ではなく、やはり新型コロナウイルスの影響が大きいと思われる。パーティが増えだしたと思えば、まん延防止等重点措置が発令され、また元に戻ったような状態だ。
		テーマパーク職員	3月は例年であれば、冬のクローズ期間が終わり、集客が伸びてくる時期であるが、例年の同時期と比べるとやや少ないように感じる。その分卒業シーズンということもあり、団体での利用が若干あるため、トータルの集客数で考えると減少傾向とまではいかないが、3か月前と比較すると変わらないように感じる。
		ボウリング場	現在まん延防止等重点措置がとられているが、全く見通しの立たないコロナ禍の長期化で、景気にもほとんど動きが感じられない。
		理・美容店	客の来店数、売上げがあまり変わらない。
	企業	農業関係者	3月期（初旬まで）の乗客数・客単価を前年12月期と比較すると両者とも若干の減少傾向。これは毎年の傾向である。前年同期と比較すると、ほぼ変わりはない。
		製造業（食料品）	委託製造分は、今回も同量を維持。小売分はネット注文が若干増えたので微増。卸販売は、大口注文者からの注文数もそれほど減っていない。以上の事から変化はないと判断した。
		製造業（食料品）	客単価および客数が変わらない。
		製造業（一般機械器具）	特に変化はなかった。
		建設業	新型コロナウイルス、オミクロン株の感染拡大に伴い、資材の値上げ、製品の入荷遅れ等で仕事にならず、売上げとしては前年度と変わらない。
運輸業（倉庫業）		保管数量はまずまずだが、世界的なコンテナ不足もあり荷の動きが遅れている状況に変化がない。	
不動産業		土地、建物の売買は順調なので変わらないと判断した。	
雇用	公共職業安定所	3か月前と比較し求人数は微増。製造業、医療、福祉業からの求人は、人手不足感から3か月前から変わらずに多い。	
	学校就業関係者	業務の関係から企業からの求人での判断となるが、変わらず求人があるため、変わらないと判断した。	
	求人開拓員	県の求人全体でみると、求人数は若干増加傾向にあるが、当所の求人数がほぼ横ばいであることから、3か月前と変わらないと判断する。	

やや悪くなっている	家計	スーパー	商品原価、その他コストの上昇による利益の圧迫で、やや悪くなっていると判断した。
		家電販売店	年末年始は人流の規制がなく人々が自由に行動していたが、ここ1~2か月は人流規制や感染者数の大幅増で客数が減少しているため、やや悪くなっていると判断した。
		スーパー	売上げ減少のため、やや悪くなっていると判断した。
		スーパー	売上高で見ると前年と変わらないが、点単価が上昇しているためであり、来店客数、買上率は減少しているため、やや悪くなっていると判断した。
		小売業	12月~1月中旬までは、売上げ・来店数ともに前年比2ケタ伸長し大きく上向いた。1月下旬からのオミクロン株の急拡大及び茨城県まん延防止等重点措置発令とともに急速に悪化した。2月は気温低下による春物ファッションの動きが鈍く、売上げ・客数ともに前年割れの状況。3月に入り気温上昇とともに上向くも前年まであと一步の推移。
		小売業（米穀）	せつかく人の流れ、動きが出てきた所でオミクロン株の流行。感染力が強く児童達の感染が多かったことから、家族が濃厚接触者→パートに出られない→店側もパートさんがいないと店がまわせない→休業せざるを得ない。という負のスパイラルになっている。10日ぐらい休業していたコンビニもあったので、やや悪くなっていると判断した。
		都市型ホテル	3か月前の12月に比べると、利用者はホテル全体として減っており厳しい状況が続いており、売上げ自体も伸び悩んでいるため、景気は例年と比べると、やや悪くなっていると判断した。
		タクシー運転手	人の移動が著しく落ち込んでいるため、やや悪くなっていると判断した。
		タクシー会社	市内での新型コロナウイルスの感染者数が増えている、まん延防止等重点措置のため出歩く人が少なくなったため、やや悪くなっていると判断した。
		その他	給料が変わらないのに物価が高騰しているため、やや悪くなっていると判断した。
企業	製造業（窯業・土石製品）	新型コロナウイルスによる消費の冷え込みから、やや悪くなっていると判断した。	
	製造業（窯業・土石製品）	原材料費の値上げ、製品単価への転嫁の遅れにより利益率が下がっているため、やや悪くなっていると判断した。	
	建設業	材料高騰により受注減のため、やや悪くなっていると判断した。	
	金融業	新型コロナウイルスのオミクロン変異株の影響による新規感染者数の高止まりや、それに伴うまん延防止等重点措置の発動により、人や物の動きが停滞しており、やや悪くなっていると判断した。	
悪くなっている	家計	衣料品販売店	新型コロナウイルスは回復の兆しが見られるが、ロシアとウクライナの戦争が全世界に影響を及ぼしてどうしようもないため、悪くなっていると判断した。
		和食食堂	新型コロナウイルスの影響により悪くなっていると判断した。
		日本料理店	12月と比べると伸び率が悪くなっているため、悪くなっていると判断した。
		都市型ホテル	宿泊、レストラン、宴会、婚礼それぞれオンハンド状況が悪くなった。宴会の会食を伴う宴席がほぼキャンセルとなり、婚礼の施工も打合せにおいて少人数化が特に進んでしまった。12月は戻りつつあったので3か月前よりは景気は悪くなった。
		タクシー運転手	まん延防止等重点措置で人の動きが減っているため、悪くなっていると判断した。
		サービスエリア	新型コロナウイルスの感染者の急増によるまん延防止等重点措置の影響、また今冬においては、例年と比較して関東方面に降雪の注意が何度かあったことによる客の出控えといったマイナス要因が重なったことが景気に悪影響を与えたため、悪くなっていると判断した。
		企業	農業関係者
製造業（窯業・土石製品）	墓石等の必要性は感じつつも先延ばしにする方が非常に多くなっているため、悪くなっていると判断した。		
製造業（印刷・同関連業）	受注数（売上げ）の減少や仕入れコストの増加により、悪くなっていると判断した。		
製造業（非鉄金属）	コロナ禍から派生した「半導体不足」が改善されず続いている。		
雇用	求人広告	例年景気の良さを感じる年度末がさほど良くなく、年末の方が仕事の発注量も多かったため、悪くなっていると判断した。	

(5) 県西地域 【現状】

回答	分野	業種・職種	コメント	
良	企業	製造業（電気機械器具）	複数の部署で受注増による人員増員要請があるため、良くなっていると判断した。	
やや良くなっている	家計	商店街代表者	来年度を迎える時期。学生服等の売上げは上がるが客単価が減っている。	
		家電販売店	来店客数は微増、売上げ額も微増ではあるがプラスで推移している状況のため、やや良くなっていると判断した。	
		道の駅	観光客の動きが戻ってきたため、やや良くなっていると判断した。	
		ゴルフ場	ゴルフ場のウェブ予約において安価料金の提示をしなくても多くの予約が入ってきているため、やや良くなっていると判断した。	
		レジャー施設	気候の良さもあいまってか、来館の人数が多くなってきているため、やや良くなっていると判断した。	
	企業	不動産業	昨年同時期に比べ賃貸で法人の動きが活発化しているため、やや良くなっていると判断した。	
	雇用	人材派遣業	人材の募集が増えているため、やや良くなっていると判断した。	
		人材派遣業	これまで派遣活用を控えていた企業からの派遣依頼件数が増えており、景気回復の兆しが伺えるため、やや良くなっていると判断した。	
	変わらない	家計	スーパー	未だ、まん延防止等重点措置期間中であり消費動向は変化がない。
			スーパー	来店客数、客単価ともに同水準で推移しているため、変わらないと判断した。
コンビニエンスストア			新型コロナウイルスの影響がひと段落したかに見えたタイミングでオミクロン株が流行し、人流が改めて抑制されているため、3か月前と大きな変化はないように思う。	
衣料品販売店			一般の買物客の来店がないので良くも悪くもならない。	
農産物直売所			青果物販売単価が横ばいのため、変わらないと判断した。	
日本料理店			まん延防止等重点措置により通常営業ができない。人通りが少ない。食材等の値上がり。不要不急の外出をしないなどのことから、変わらないと判断した。	
旅行代理店			現在の旅行業、観光バス業は最悪の状態だ。何を計画しても客が集まらない。一般も団体も学校部活も送迎も、何もかも仕事に結びつくことがない。コロナ禍、オミクロン株などが収束しなければ進まない仕事がない。	
道の駅			茨城県内の新型コロナウイルスの感染者数に変化が見られず、客足も増えてはいない。また、イベントも開催できず、集客ができないため変わらないと判断した。	
ゴルフ場			来場者数は前年並みで、業界としては好景気となっているが、3か月前と同等程度と感じる。	
レジャー施設			予約状況が変わってこない。	
商店街代表者		新型コロナウイルスの第6派が1月中旬より急激に増加し、今現在も1日の感染者数が1500人前後で推移している。県のまん延防止等重点措置の適用決定が1月下旬から発出され、3月21日まで再々延長されており、飲食店の営業時間短縮やイベント等の開催制限、外出・移動の自粛などの自粛ムードにより、景気の回復の足かせとなっているため変わらないと判断した。		
設計事務所		新型コロナウイルスの対策が変わらず続いているため、変わらないと判断した。		
企業		農業関係者	青果物の販売関係について、3か月前同様にコロナ禍で外食需要が減少し、野菜価格が安値で推移しているため変わらないと判断した。	
		製造業（窯業・土石製品）	受注数等について今のところ増減がない。	
		製造業（電気機械器具）	仕入れ部品、材料の値上げ等が依然として続いており、リードタイムも不透明で状況は変わっていない。	
		製造業（化学工業）	パソコン、スマホ、IT通信インフラの需要好調が継続し、電子材料製品の受注が好調であるが、変わらないと判断した。	
		製造業（窯業・土石製品）	一部でスポットの受注増はあるものの、継続取引の事業所からの受注は増加していないため、変わらないと判断した。	
		製造業（金属製品）	弊社を取り巻く昨今の受注高の特徴は、月単位で乱高下がある。3か月前も現在も同様の状態であるため、変わらないと判断した。	
		建設業	特に変化を感じない。	
		建設業	民間の工事も出て来ているので忙しくなっているが、人手不足で外注を頼むことで利益率はあまり見込めないと思われるので、変わらないと判断した。	
	金融業	新型コロナウイルスの影響により飲食店の売上げが再び減少しているものの、他の業種においては変化なく、全体としては景気は変わらない状況にある。		
	サービス業（コンサルタント業）	少し良くなりかけたかなと思ったら、オミクロン株によりまた停滞しているため、変わらないと判断した。		
雇用	求人広告	季節的な要因を除くと、新型コロナウイルスやその対策等(まん延防止等重点)に左右される部分が多いため正直判断が難しい。ただ取引先の話聞いてみると「客単価も客足も変わらない」という声も多く、私も同じ見解のため、変わらないと判断した。		
	学校就業関係者	求人企業数は、昨年度より多く就職内定率は良いと思われる。しかし、求人企業の給与水準は変わらず、生活が良くなったとは思えないため、変わらないと判断した。		

やや悪くなっている	家計	商店街代表者	茨城県、特に市内の感染者数の増加を見て外出を控える傾向にあるため、やや悪くなっていると判断した。
		コンビニエンスストア	新型コロナウイルスの影響により、やや悪くなっていると判断した。
		レストラン	コロナ禍で思うように売上げが伸びない。コロナ禍で仕方ないが、送別会等のグループ予約がないので、やや悪くなっていると判断した。新型コロナウイルスの感染者数が思うように減らない。
		旅行会社	物価の上昇により先行きの不安からか、財布の紐が緩んでこないため、やや悪くなっていると判断した。
		理・美容店	近隣地域でのオミクロン株の感染拡大が影響していると思われるので、やや悪くなっていると判断した。
		設計事務所	品薄状態が顕著であり、決済までの日数が長くなっているため、やや悪くなっていると判断した。
	企業	畜産業関係者	飼料価格の高騰などから、やや悪くなっていると判断した。
		製造業（印刷・同関連業）	紙や薬品などの材料の値上がりがあり価格に転嫁出来ていないため、採算が悪くなっているため、やや悪くなっていると判断した。
		製造業（非鉄金属）	製品の販売先であるメーカーが生産を停止。新型コロナウイルスの影響で部品不足やクラスター等があるため、やや悪くなっていると判断した。
	雇用	求人開拓員	昨年末ごろから新型コロナウイルス・オミクロン株の感染者数拡大に伴い、経済活動が停滞しているためか、2月頃は求人数の変動が大きく下がる時期があったと感じるため、やや悪くなっていると判断した。
悪くなっている	家計	自動車販売店	新型コロナウイルスも落ち着かず、製造現場での遅れにより商品がない。原油高騰により、物価が高くなっているため、悪くなっていると判断した。
		メガネ・時計販売店	まん延防止等重点措置の影響か、客数がなかなか伸びないため悪くなっていると判断した。
		小売業（酒類）	新型コロナウイルスによるまん延防止等重点措置の影響による売上げの低下。ロシアによるウクライナ侵攻などによって客の購買意欲が湧かないため、悪くなっていると判断した。
		製茶販売	いい話を聞かない。仕事は減るし、給料も減る。物価は上がる。
		食堂	まん延防止等重点措置が適用になり人の流れが少なくなったため、悪くなっていると判断した。
		和食レストラン	オミクロン株が急激に増えたため時短営業になり、客数が減り、悪くなっていると判断した。
		都市型ホテル	新型コロナウイルスのまん延防止等重点措置により、営業時間の短縮、休業を余儀なくされ、売上げ減少に繋がったため、悪くなっていると判断した。
		タクシー運転手	まん延防止等重点措置で客足が減ったように思うため、悪くなっていると判断した。
		観光型ホテル	昨年12月に景気が戻りつつあるように見受けられた。営業することに対して自信のようなものが出てきて、仕事に対してやる気が出たように感じていた。しかし、1月になってまた不安な要因が出てきて2月、3月と客の動きが止まり、完全に売上げはゼロに近くなったため、悪くなっていると判断した。
		クリーニング店	新型コロナウイルスの感染者数の増加により、外出や出費が減ってくるので、悪くなっていると判断した。
企業	製造業（食料品）	原料費、燃料費など全体的に値上げ傾向のため、悪くなっていると判断した。	
	製造業（金属製品）	取引先での半導体に関連した部品の入手が難しく、生産調整され受注が鈍くなったため、悪くなっていると判断した。	

Ⅲ 景気の判断コメント — 2 景気の先行き判断コメント

(1) 県北地域 【先行き】

回答	分野	業種・職種	コメント
やや良くなっている	家計	酒・各種商品小売業	まん延防止等重点措置も解除されていると思うので、やや良くなっていると判断する。
		小売業（弁当・惣菜店）	新型コロナウイルスに新規感染者も緩やかではあるが減ってきている。また、行政でも3回目のワクチン接種も進み始めてきて、春にはその効果が表れると思われるため、やや良くなっていると判断する。
		小売業（水産物）	まん延防止等重点措置が解除されてからは期待したいところだが、消費者の購買意欲が物価高騰によりどうなるかが不安。
		小売業（時計）	コロナ禍も安定してくると思われるため、やや良くなっていると判断する。
		日本料理店	アルコールを提供しているが2018～2019年度までは戻らないと思う。
		観光型ホテル	3回目のワクチン接種が済んで、感染予防をしながらであれば以前よりも安心して旅行に出かけられる雰囲気になっており、今後も予約数が増えることが予測されるため、やや良くなっていると判断する。
		ゴルフ場	新型コロナウイルスや物価上昇にも慣れてきて、少しだけ気分が晴れる気がするので、やや良くなっていると判断する。
		ゴルフ場	まん延防止等重点措置などの解除に伴い、飲食・レジャー産業が活性化されると思うので、やや良くなっていると判断する。
	住宅販売会社	国からの住宅支援事業が始まるため、やや良くなると思う。	
	企業	製造業（電気機械器具）	ウクライナ情勢が決着し、物流の正常化に伴う物資の供給や、仮に供給が不足した物に対する対策が取られていると考えるので、やや良くなっていると判断する。
		製造業（精密機器）	コロナ禍が落ち着けばコロナ禍前のように仕事ができるようになると思うので、やや良くなっていると判断する。
		運輸業	今後、顧客製品の出荷台数も増えてくる予定なので、徐々に良くなっていく状況である。
	雇用	学校就業関係者	新型コロナウイルスの感染状況やウクライナ紛争が収束し、通常の経済活動に戻ると思われるため、やや良くなっていると判断する。
		求人開拓員	年度が変われば、企業からの求人も増えると予測しているし、求職者もそれに伴い増えてくると思っているので、やや良くなっていると判断する。
変わらない	家計	商店街代表者	新型コロナウイルスは収束に向かっているが、資材の値上がりが激しく新規の商談が進まないため変わらないと判断する。
		衣料品販売店	今後3か月で景気が良くなるとは思わないため、変わらないと判断する。
		小売業（酒類）	新型コロナウイルスが収まらなくては良くなることは厳しいかもしれない。
		スナック	新型コロナウイルスでの外出自粛に慣れて、出かける習慣がなくなった。
		観光型ホテル	新型コロナウイルスの状況次第であるため、変わらないと判断する。
		旅行代理店	旅行や観光に関しては、新型コロナウイルスの感染状況次第と思われるため、変わらないと判断する。現在のように、感染者数の高止まりのままであれば現状のまま、逆に感染者数が減少していけば景気は良くなると思う。
		タクシー運転手	会社関係の送迎が増えないと良くならない。これがいつ回復するのか見当もつかない。
		ドライブイン	まん延防止等重点措置中でも遠方の客はたくさん来ているが、売上げ客数はまだ伸びないため変わらないと判断する。
		ゴルフ場	人の流れが増えても使うお金は少ないため、変わらないと判断する。
	ボウリング場	新型コロナウイルスが終息しない限り良くはならないと思うので、変わらないと判断する。	
	企業	製造業（電気機械器具）	液晶・半導体製造装置関連において受注や引合いが増え、仕事を別部門にシフトしたり派遣社員の増員を行う状況が当面続く見込みのため、変わらないと判断する。
		製造業（食料品）	4月にも原料が値上げするため、変わらないと判断する。
		金融業	下げ止まり傾向となっているオミクロン株の感染状況に左右されることから、変わらないものと判断する。
	雇用	運輸業（精密機器運送）	外的要因によって仕事量に影響が出てしまう。新型コロナウイルスはもちろん、半導体不足、原油価格の上昇などプラス要因が聞こえてこないため変わらないと判断する。
公共職業安定所		新規求人数等について前月、前年同月と比較しあまり変わらない状態が続いている。製造業からは受注を受けた残数の仕事量はあるが物流が滞り、材料が入荷しないため作業にとりかかれず納期遅延の状況もあるとの声を聞くこともある。以前より原油価格高騰の厳しい状況がある中、海外情勢も加わるため作業量が回復していても雇用を控えてしまうのではないかとと思われるため、現状とあまり変わらないと思われる。	

やや悪くなっている	家計	スーパー	食品やガソリン、電気料金の値上げなどが食費の節約にも繋がると考えられるため、やや悪くなっていると判断する。
		スーパー	新型コロナウイルスだけでなく、ウクライナ情勢から色々な問題が出てくる気がするので、やや悪くなっていると判断する。
		スーパー	基本商品の値上げが増加して、買控えが見られる。必要でない商品の買上げ減のため、やや悪くなっていると判断する。
		日本料理店	今までも原材料の一部が値上がりしてきたが、4月よりさらに値上がりする品目が増え利益率が減少することが予想されるため、やや悪くなっていると判断する。
		タクシー運転手	ウクライナ問題、株価の急落、ガソリンの高騰もあり悪い条件が揃っている状態で先行きが見通せない。
		レジャー施設	可処分所得が増えない中で、光熱水費や多くの物品等の値上げにより、個人消費が鈍化すると思われる。合わせて、ロシアのウクライナ攻撃の影響も多分にあると想定されるため、やや悪くなっていると判断する。
		写真店	新型コロナウイルスの影響や物価上昇により、消費が落ちることが予想されるため、やや悪くなっていると判断する。
		写真店	新型コロナウイルスに加え、ロシアのウクライナ侵攻により厳しい状況のため、やや悪くなっていると判断する。
企業	林業関係者	木材流通に関していえば、これからは虫害の心配が懸念される時期。現在、大型製材所では虫害対策として、活発な買込みに入り、価格も数十年ぶりの高値を付けたが、今後、価格の下落が予想され、大きな反動が令和4年度に帰ってくるのではと想定している。木材価格が下がり、代わりに、燃料、資材、大型機械の値上がりと不安要因は否めないため、やや悪くなっていると判断する。	
	製造業（化学工業）	ウクライナ戦争の影響が出てくるため、やや悪くなっていると判断する。	
	製造業（電気機械器具）	コロナ禍及び環境破壊の影響などで、材料コストの上昇や入手困難により、生産に影響が出る懸念があり、やや悪くなっていると判断する。	
	製造業（一般機械器具）	国内における競争激化により、今後も厳しい状況が続くと想定している。また、想定していなかったウクライナにおけるロシアの侵攻によって、今後どのような影響が出てくるか不透明であるため、やや悪くなっていると判断する。	
	製造業（輸送用機械器具）	原油価格の高値継続、新型コロナウイルス感染リスク、更にはウクライナ情勢悪化に伴う更なる材料高騰並びに部材供給逼迫懸念が払拭されておらず、依然として国内外の景気は好転の兆しが見えてこないため、やや悪くなっていると判断する。	
	建設業	世界情勢や新型コロナウイルスの感染状況の不安から、消費活動は控え目になると思うので、景気はやや悪くなっていると判断する。	
	情報通信業（情報サービス業）	オミクロン株の流行やウクライナ情勢、物価の高騰、ハード品納期の遅延等があるため、やや悪くなっていると判断する。	
雇用	求人広告	一向に改善される要素がないため、やや悪くなっていると判断する。	
悪くなっている	家計	自動車販売店	コロナ禍による半導体不足、原油高騰、ウクライナ問題と地球規模で状況悪化していて、景気がいい訳がないため、悪くなっていると判断する。
		食堂	ロシアとウクライナの戦争の影響による景気状況の悪化、原油価格の高騰による資材や植物油に対する影響などから、悪くなっていると判断する。
		タクシー運転手	新型コロナウイルス感染拡大で会社勤務のテレワークが進行するため、事業所のタクシー利用は激減のままであると思われる（回復しない予想）。現在は、タクシー助成券により高齢者のワクチン接種時のタクシー需要があるが、一段落して利用が減少するため、悪くなっていると判断する。
	企業	水産業関係者	全般的な物価上昇だけではない不買傾向は今後も続くと思うので、悪くなっていると判断する。
製造業（食料品）	燃料や資材の値上げが開始され、悪くなっていると判断する。		

(2) 県央地域 【先行き】

回答	分野	業種・職種	コメント
良	雇用	公共職業安定所	コロナ禍の中であっても求職活動が活発化し始めている。新規求人は対前年度同月比で4か月連続でプラスとなっているため、良くなっていると判断する。
やや良くなっている	家計	スーパー	暖かくなってきて、外出の機会も増えてくるかと思うので景気が良くなっていると思う。
		コンビニエンスストア	ワクチン3回目接種の増加、まん延防止等重点措置の解除により外出等、人の流れに良い影響が出てくると考えられるため、やや良くなっていると判断する。
		楽器販売	これは多少希望的観測も入っているが、ワクチン3回目が進み飲み薬も普及すれば、これまでの動きとは大幅に変わるのではないかと期待している。ただしウクライナ情勢が大きく変わると、正反対の状況もありえる。
		都市型ホテル	現在の予約状況が大きく変化しなければ良くなると予測する。
		観光型ホテル	新型コロナウイルスの感染拡大が落ち着いていると思われるので、やや良くなっていると判断する。
		旅行代理店	まん延防止等重点措置が解除になり、経済活動が徐々に活発化するため、やや良くなっていると判断する。
		タクシー運転手	当然ながら現状では新型コロナウイルスの感染者数が景気の良し悪しを左右するが、3か月先は景気はやや良くなっていると願いたい。
		タクシー会社	まん延防止等重点措置の解除によって人流が多少でも増加すれば、多方面に渡って経済活動が活気を取り戻すことに期待して、やや良くなっていると判断する。
		タクシー会社	現状の流れから変容した行動パターンに多少の変化があるものと考えている。人流抑制が解除され飲食店の時短営業等が解除されることが必要な事だが、企業の設備投資や立て直し等も活発に行われると期待しているところである。また、数年間にわたる人流抑制から解放された一般の方々の流れも大きな景気回復の要因であると判断している。
		スーパー銭湯	来館者数に占める20代、30代の割合が増加している。まん延防止等重点措置が3月21日で解除となるので商圏内の移動が活発になることと、広域からの客が増加すると見込んでいるので、やや良くなっていると判断する。
		スーパー銭湯	以前と比べ外出自粛による個人消費行動が慣れてきたのかそこまで大きく落ち込まなくなってきた。感染対策をしながらでの行動が増えてきた。また、燃料などの値上げにより3月1日から値上げをしたが、大きな落ち込みはなく消費者に理解して頂けたのが大きく、3か月先はやや良くなっていると判断する。
		設計事務所	まん延防止等重点措置の解除が景気回復のスイッチ。そのタイミングに期待をしたい。
		設計事務所	公共事業の設計発注も開始され、建築物品の供給状態も安定方向に向かうと予想されるため、やや良くなっていると判断する。
企業	建設業	不安感の中にも、これだけとは選択購買のためか、やや良くなっていると判断した。	
	不動産業	銀行の不動産投資に対する見方がよくなる兆候が見られるため、やや良くなっていると判断する。	
雇用	人材派遣業	更に受注は増える見込みのため、やや良くなっていると判断する。	

変わらない	家計	小売業	全く読めない。
		小売業	3か月先の6月は、夏物プロパー商戦で活気付く時期であり、季節商材の投入によりモチベーション需要につなげていく重要な月である。後半より一部先行の割引販売がスタートすることもあり、商況が改善していれば売上げ増も期待出来る。一方で、新型コロナウイルス新種株の感染状況・物価変動により激変することも想定されるため、3か月先も大きな変化は期待出来ず、景気は変わらないと判断する。
		小売業	3回目のワクチン接種の完了、感染者数の減少がポイントであることは今までと変わらないが、これ以上悪化しないことを祈念して変わらないと判断する。
		割烹料理店	まん延防止等重点措置が終わったとしてもすぐには客の増加があるとは思えない。また今までのような多人数での食事会がなくなってしまうと予想できるため、変わらないと判断する。
		スーパー	新型コロナウイルスに続き、ロシアのウクライナ侵攻もあり、先が見通せない状況がまだまだ続くため、変わらないと判断する。
		スーパー	新型コロナウイルス次第だが変わらないと思う。
		コンビニエンスストア	継続的にコロナ禍であり、客は店の使い分けをしているが、一回あたりの購入額が高い傾向は継続すると思われるため、変わらないと判断する。
		自動車販売店	新型コロナウイルスの拡大、株価不安定、ロシア・ウクライナ問題、ガソリン高、半導体不足等などの全状況が改善されない限り好転はないと考えられるので変わらないと判断する。
		農産物直売所	ガソリン価格が落ち着かないと遠方からの客の来店数減が続き、各種食品の値上げから買控えもしばらく続くと思われるため、変わらないと判断する。
		レストラン	まん延防止等重点措置が解除になっても、すぐに人流が多くなるとは思えないため変わらないと判断する。
		レストラン	正直先がまったく読めない状況である。
		都市型ホテル	法人利用が回復しなさそうなので、変わらないと判断する。
		バス運転手	これ以上悪くなることはないと思うが、飛躍的に良くなるとも考えにくい。新型コロナウイルスの蔓延状況次第かと思うので変わらないと判断する。
		道の駅	新型コロナウイルスの落ち着きが見えないのと、ロシア・ウクライナ紛争の解決も見えない。もしかして悪化する可能性もある。人の移動拡大と物価の落ち着きがなければ現状と変わらない。
		観光名所	現在3か月先の予約・問合せがないため、今後3か月先の景気は変わらないと思う。
		レジャー施設	新たな変異株の出現も報告され、徐々に感染が広がっている状況のため、3か月ではまだ感染は収まらないと予想され、現況とあまり変わらないと思われる。
		理・美容店	6月は梅雨明けではあるが、当店ではメニューの矯正パーマなど最近かける人も少なく、カットだけの方が多いため売上げに繋がらないため、変わらないと判断する。
	ペット美容室	6月頃は梅雨に入る前で需要が増える時期のため、現状と変わらないと判断する。	
	企業	農業関係者	現状からみると新型コロナウイルスの第7波、第8波が心配なので変わらないと判断する。
		製造業(食料品)	この春も新型コロナウイルスによる影響が懸念されるため、変わらないと判断する。
製造業(印刷・同関連業)		3か月位では景気回復とはならないため、変わらないと判断する。	
製造業(印刷・同関連業)		まずは感染拡大が収まり、人が動いて、町が動いてからだと思われるため、変わらないと判断する。	
製造業(一般機械器具)		多少仕事量は増えてきた感じはするが、エネルギーや調達コストの増加で打ち消してしまうため、変わらないと判断する。	
金融業		新型コロナウイルスの第6波の終息、及び3回目のワクチン接種や感染防止対策も浸透し、その効果が出ると考えられる。	
サービス業(コンサルタント業)		変化がない。	
やや悪くなっている	家計	商店街代表者	新型コロナウイルスの終息が見えない状況やロシアのウクライナ侵攻など、大きな不安材料が影響してくると思うので、やや悪くなっていると判断する。
	企業	製造業(窯業・土石製品)	3月の受注分がなくなると今のところ3か月先の受注は低調である。
		製造業(精密機械器具)	現状の部材不足は対策し何とか凌いでいるが、情報によると4月以降も部分的にあるようだ。その場合、対応出来るかどうか不透明なため、やや悪くなっていると判断する。
		運輸業(道路貨物運送業)	コンテナ不足による輸出入の遅延・キャンセルは長引くと思われ、貨物の停滞が予測される。また、燃料価格の高騰による経費増が響いてくると思われるため、やや悪くなっていると判断する。
	工務店	世界情勢の悪化、物価、原油の上昇等により悪くなることが予想される。	
雇用	学校就業関係者	新型コロナウイルスの3回目ワクチン接種が伸び悩む中、諸物価高騰が収まるとは思えない。その一方で所得は現状維持にとどまっており、景気回復は困難と感じている。	
悪くなっている	家計	スーパー	物価の上昇、各種の値上げにより、今後は景気も厳しくなるのではないかと。ロシアの影響も出てくるので悪くなっていると判断する。
		旅行会社	新型コロナウイルスの影響で、まだまだ旅行に行こうと思う人がいないため、悪くなっていると判断する。
		レジャー施設	原油価格は一層の上昇局面にあり、先行きが不透明であることから、現状と比較し悪くなっていると思われる。
	企業	建設業	良くなる要素があるならいいと思うが、良くなる要素はないと思う。
	雇用	求人広告	新型コロナウイルスの終息も見えず、なかなかビジネスチャンスも見出せないため、悪くなっていると判断する。
求人開拓員	ウクライナ紛争の決着が見通せない中、エネルギー、食糧の価格上昇をはじめとするインフレが要因となり、景気が悪化すると思われる。当センターの業務では求人件数に影響が出るものと考えられるため悪くなっていると判断する。		

(3) 鹿行地域 【先行き】

回答	分野	業種・職種	コメント	
良	家計	コンビニエンスストア	近隣工場の定期修理があり、人の流れが増えるため、良くなっていると判断する。	
		観光型ホテル	予約数が少しではあるが増えてきたため、良くなっていると判断する。	
	企業	製造業（精密機械器具）	新規受注の生産開始となるので、売上げが増加し景気は良くなると思う。	
	雇用	民間職業紹介業	新型コロナウイルスの感染者数は減っていないが、重症化リスクが減ってきているせいか休業や減産が減ったため、良くなっていると判断する。	
やや良くなっている	家計	コンビニエンスストア	まん延防止等重点措置も解除され人の動きも増え、また近隣の工場の定期修理も始まるため、やや良くなっていると判断する。	
		家電販売店	緩やかでも状況が良くなってくると予想している。周辺も経済活動を自粛する状況ではなく、出来るだけ通常の状態を保っている。今後の客足の変化を期待している。	
		農産物直売所	今後、新型コロナウイルスが減少していく中で、バス等の受け入れをするので売上げ、客数の増加を見込めると考えているため、やや良くなっていると判断する。	
		小売業（菓子類）	新型コロナウイルスの感染者数が減少して人の動きが活発化してくると思われる。そのため売上げが増加することが期待できるため、やや良くなっていると判断する。	
		小売業	やや良くなっていて欲しいという願望である。	
		日本料理店	まん延防止等重点措置が解除されて人数制限がなくなると予想するため、やや良くなっていると判断する。	
		運転代行	3か月先、多少の人の動きはあると思う。今月に比べると売上げも多少上がるのではないかと思うので、景気もやや良くなっていると判断する。	
		都市型ホテル	近隣の企業の定期修理の時期なので、やや良くなっていると判断する。	
		道の駅	コロナ禍であっても徐々に団体利用者が増えていくと考えられるので、やや良くなっていると判断する。	
		ゴルフ場	まん延防止等重点措置が近々解除され、レジャー意欲が高まると思われるため、やや良くなっていると判断する。	
企業	製造業（電気機械器具）	新規取引が開始予定であり、自動車も戻ってくる見込みなので、やや良くなっていると判断する。ただし、半導体とウクライナ関連の影響が心配だ。		
	金融業	5月より4年に1度の大規模な定期修理工事が始まり、今年は建設業や宿泊業、飲食業等の売上げ増加が見込め、また多くの関連業者が出入りするため、やや良くなっていると判断する。		
雇用	人材派遣業	短期的な受注について複数の業界から問合せが来ているため、やや良くなっていると判断する。		
	公共職業安定所	まん延防止等重点措置も解除の方向なことから、消費の回復が見込まれるため、やや良くなっていると判断する。		
変わらない	家計	小売業（薬品店）	ともかく新型コロナウイルスの終わりが見えてこないと感じる。	
		小売業（食品）	まん延防止等重点措置が解除されても変わる様子はない。	
		和食レストラン	ウクライナ問題、原油高、新型コロナウイルス関連ではBA. 2株への置き換わりなどの懸念材料が多く、更に悪化する可能性もあるが、変わらないことを期待したい。	
		割烹料理店	まん延防止等重点措置や緊急事態がいつ要請されてもおかしくないため、良くなる見込みはないため変わらないと判断する。	
		海鮮料理店	コロナ禍が長引いたので今後は人流は増えると思うが、売上げに繋がるとは思えないので、変わらないと判断する。	
		観光型ホテル	新型コロナウイルスの感染者数が茨城を含めなかなか減少しないことも考えると、Go To トラベルやいば旅あんしん割が長期的に再開しないかぎり、景気は変わらないと思う。	
		旅行代理店	新型コロナウイルスが終息しないとなかなか難しい。	
		ゴルフ場	不景気＝客離れとはならないと思う。逆に好景気＝集客増という感じも見受けられないと思うので、変わらないと判断する。	
		企業	製造業（化学工業）	ユーザーの生産稼働率は、横ばいの状況が3か月先も続くと思われるので、景気は変わらないと思う。
			製造業（ゴム製品）	客先からの3か月注文予定から変わらないと判断する。
製造業（鉄鋼業）	経営環境は良い状況が続いているが、好転の要素は感じ取れないため、変わらないと判断する。			
建設業	新型コロナウイルスの影響次第だが、建設材料の高騰による影響も多く、短い期間での景気回復は見込まれないため、変わらないと判断する。			
運輸業（道路貨物運送業）	燃料の高値が続けば、会社としてはとても厳しい。			
運輸業（道路貨物運送業）	現状での状態がしばらく続くと思われるため、変わらないと判断する。			
雇用	求人開拓員	諸材料の値段がいつ頃収まるのか、新型コロナウイルスの感染はいつまで続くのか、見通しがつかないと将来の景気は予想がつかないため、変わらないと判断する。		

やや悪くなっている	家計	商店街代表者	未だに世界での新型コロナウイルスの蔓延が収束してないにも関わらず、ロシアによるウクライナ侵攻情勢が緊迫してきている。日常的にもガソリンや電気、食品関連価格の値上げが今後も予想されるため、市民生活は、現在の状況より悪くなるのではと考える。
		スーパー	3月21日にまん延防止等重点措置が解除となり、特需状態から通常時の売上げへと回帰する。現在よりも5~8%程度売上げが減少すると考えられるため、やや悪くなっていると判断する。
		衣料品販売店	新型コロナウイルスだけでなくロシア、ウクライナ情勢が世界中に影響を与えていると思うので、やや悪くなっていると判断する。
		農産物直売所	新型コロナウイルスの影響はまだまだ続くと予測されることと、ウクライナでの戦争の影響が出るので、やや悪くなっていると判断する。
		小売業（薬品店）	来月以降様々な商品の値上げが予測され、消費が落ち込むと思われるため、やや悪くなっていると判断する。
		小売業（書店）	悪くなっていると思うが、期待を込めてやや悪くなっているにしてみた。学生数の減少のため悪化は仕方ないかと思う。
		洋食食堂	新型コロナウイルスの終息が見えないのに、ロシアのウクライナ侵攻などという狂人の行いが明日を暗く変えてしまうので、やや悪くなっていると判断する。
		レジャー施設	原油価格の高騰、それに伴う商品の値上げ等により景気が良くなるとは思えない。新型コロナウイルスが終息しない限り景気回復は見込めない。
		住宅販売会社	コロナ禍、ロシアのウクライナ侵攻、日鉄の高炉閉鎖、暗いニュースが続き、景気がやや悪くなっていると判断する。
やや悪くなっている	企業	農業関係者	国際情勢の政情不安により原油高や原材料の高騰で、さらに農業関連資材が上がり、今後景気の足かせになると思われる。今後しばらくは景気が良くなるとは思えないため、やや悪くなっていると判断する。
		製造業（食料品）	新型コロナウイルスの感染者数の減少により経済活動の活発化が予想されるが、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化と諸物価アップの影響による消費低迷が持続するのではないかと思うので、やや悪くなっていると判断する。
		製造業（金属製品）	不透明ではあるが、石油関連等の値上げによって、製造品（原料）・補助製品（電力費、運賃など）は大幅に上昇しているため、やや悪くなっていると判断した。
		建設業	ロシアによるウクライナ侵攻が悪影響を及ぼしているため、やや悪くなっていると判断する。
		保険業	土木工事は国道355号バイパス工事と東関東自動車道の工事で忙しいが、木造建築工事が減少しているため、やや悪くなっていると判断する。
		不動産業	新型コロナウイルスがこのまま続くと思うので、良くなる要素がない。また、半導体関係がますます不足のようなので、色々な産業が大変だと思うので、やや悪くなっていると判断する。
		サービス業	ウクライナ情勢によって左右される側面が強いと考えられるが、身近な商品や公共料金の値上げが相次いでいる一方で賃金水準が上がらない状況から、客との会話の中でも引き締め感が垣間見られるため、やや悪くなっていると判断する。
		サービス業（会計事務所）	良くなる要素が見当たらない。
悪くなっている	家計	タクシー運転手	オミクロン株が減少しない限り景気の回復は見込めないが、将来を考えた場合、現状回復したとしてもまた色々と問題が発生するので、強い会社作りを優先に取り組んでいくことが必要になる。
		クリーニング店	新型コロナウイルスの影響で行事が中止または縮小傾向にあるため、悪くなっていると判断する。
		住宅販売会社	新型コロナウイルスの影響で、イベントへの集客・新規開拓が出来なくなってきたため、悪くなっていると判断する。
	雇用	学校就業関係者	ガソリン、金属材料等の値上がりの影響が出ると思うので、悪くなっていると判断する。

(4) 県南地域 【先行き】

回答	分野	業種・職種	コメント
良	家計	和食食堂	新たな変異株が出てきても、新型コロナウイルスに慣れたので落ち込みが緩いと考えるので、良くなっていると判断する。
		都市型ホテル	昨年も利用があった長期研修の団体の予約が入っているため、安定の利用が見込まれる。単価も悪くはないので傾向としては、景気は良くなっていると判断する。
		レジャー施設	新型コロナウイルスとの共生も進んで、日常生活に戻ってくると考えるため、良くなっていると判断する。
やや良くなっている	家計	小売業	新型コロナウイルスの感染状況により影響はあると思われるが、オミクロンが比較的軽症のイメージがあり、客も極度の来館見合わせや消費自粛には繋がらないと思われる。前年60歳以上の来館が大きく落ち込んでいたが、この年代が直近では前年を上回る来館数となっており、消費動向は上向くと感じるため、やや良くなっていると判断する。
		衣料品販売店	コロナ禍が回復し、ロシアの戦争が終われば経済が正常に回復すると思われるので、やや良くなっていると判断する。
		日本料理店	時短営業がなくなり、6月は客単価や利益率は良くなってくると思うので、やや良くなっていると判断する。
		都市型ホテル	兎にも角にも新型コロナウイルスが問題であって、この問題が少しずつ良い方向になってきそうなので徐々に景気も回復すると思っている。また、今まで現場での仕事を慎重にしてきた顧客層が復活しつつある。需要が増えそうなので少しずつ料金や単価の見直しも出来ると考えているため、やや良くなっていると判断する。
		タクシー運転手	まん延防止等重点措置の解除により多少の人出は見込められると思われるので、やや良くなっていると判断する。
		タクシー運転手	まん延防止等重点措置の解除次第で変わると思うため、やや良くなっていると判断する。
		タクシー会社	暖かくなるにつれて新型コロナウイルスも収まり、少しずつ出歩く人が増えてくると思うので、やや良くなっていると判断する。
		ゴルフ場	例年開催の大型コンペが復活開催されるようになったため、予約が先行するようになってきた。また、特に土・日の社用接待需要も回復しているように見受けられるため、やや良くなっていると判断する。
		ゴルフ場	予約も多くなってきている。3か月後には新型コロナウイルスの状況が落ち着いて、この予約の伸びを後押しするような状況を期待したい。
		テーマパーク職員	新型コロナウイルスの影響がどう変化するかが大きな要因になってくるとは思われるが、予定通りに、まん延防止等重点措置が解除されそのまま3か月後を迎えられれば、多くの方が余暇活動に来場されると思われる。実際に3か月後に向かい予約は少しずつ増加傾向にある。また多少なりとも世の中が新型コロナウイルスの影響を受けても、弊施設は屋外でオープンエアな環境のため、減少することはないと思われるため、やや良くなっていると判断する。
企業	製造業（一般機械器具）	増産が計画されているため、やや良くなっていると判断する。	
	建設業	3か月先は公共工事がいつもより少ないのだが、このごろ役所が早めに発注してくれている。民間工事も継続して見積り依頼が来ており、3か月先も景気はやや良くなっていると思う。	
	不動産業	新型コロナウイルスの影響が一時より収まってきている感じで、その意味でやや良くなっていると思う。	
雇用	求人開拓員	新型コロナウイルスのまん延防止等重点措置が、3月21日に解除される見込みであることから、3か月先の景気は、今月よりやや良くなっていると予想する。	
変わらない	家計	家電販売店	とにかく新型コロナウイルスの影響次第で大きく変わると思う。現状で行くと何も変わらないのではないかなと思う。
		スーパー	点単価上昇の影響で売上高は変わらないが、客数や買上率の増加は見込めないため、変わらないと判断する。
		農産物直売所	売上げは横ばい。客もリピーターが多く、決まった買物が多い。
		小売業（米穀）	21日でまん延防止等重点措置法が解除されるようだが、そんなにすぐには良くなると思う。近くのホテルが休業中で、宿泊客が今まで食べ(飲み)に来ていた近くの飲食店は、かなりのダメージがあるようだ。ガソリンや小麦等いろいろな物が値上げされているが、私の業界では安売り合戦が始まっている。大中小店舗、どこも厳しい。
		洋食食堂	ソーシャルディスタンスにより人数を制限しているので売上げは伸びない。多人数の予約も受けていないので、しばらくはこのまま状況を見ながらである。ただし、人数制限に変わり、当店は安いコース（2500円税別）をなくした。特別問題なく過ぎていく。
		都市型ホテル	今現在が厳しい状況なので、これ以上は変わらないと思われる。宿泊も海外の方も予約やGo Toキャンペーン等が開始となれば良くなると思う。また婚礼も12月、1月に新規来館も増え決定もしている中で、何とか列席者数を変えずに施工し、宴会については、入社式や株主総会も会食なしとなると思われるが、開催はお願いしたい。レストランの休業も早く元通りに営業開始できるようにしたい。以上多くは概況で影響され、まだ変わらないと思う。
		タクシー運転手	まん延防止等重点措置も延長されており、先行きが不透明な状況が続いているため、変わらないと判断する。

変わらない	企業	農業関係者	今後の景気回復の要素が見当たらない。
		製造業（食料品）	まん延防止等重点措置が延長となった。再度の延長はないと思うが、人の動きは鈍いと考えれば売上げは下降傾向になると思う。今までの傾向からすると、その分がネット注文で補填されているので、結果変化は少ない（変わらない）と判断する。
		製造業（食料品）	特に変わる要素がない。
		製造業（飲料）	ロシア、ウクライナの情勢も気になり、どちらかという悪い方へ行くのではないかと思う。
		製造業（その他）	今まで通り注文が安定すれば変わらないと思う。
		製造業（窯業・土石製品）	ウクライナ情勢による原油価格の高騰懸念や、その他原材料のさらなる値上げが懸念される。
		運輸業（倉庫業）	引き続きコンテナ不足や燃料価格高騰も鑑みると、好転する気配が感じられない。
雇用	公共職業安定所	新型コロナウイルスや資源価格の高騰の影響は出てくると思われるが、製造業や医療、福祉業の人手不足は解消されないと考える。求人の状況は変わらない。	
	学校就業関係者	業務の関係から企業からの求人での判断となるが、求人数が同程度見込まれるため、変わらないと判断する。	
やや悪くなっている	家計	スーパー	今後もさらに色々な面で、コスト上昇の予定が発生するため、やや悪くなっていると判断する。
		スーパー	物価高、コロナ禍のため、やや悪くなっていると判断する。
		スーパー	物価の上昇、ウクライナ情勢など先行きは不安定であると思う。給与が上がらない限り、消費の勢いは伸びないと思うので、やや悪くなっていると判断する。
		コンビニエンスストア	財布の紐はますます固くなると予想されるため、やや悪くなっていると判断する。
		小売業（生花店）	ガソリンを含む石油価格の上昇に伴い経費の上昇が見込まれ、全額が商品価格に転嫁連動させにくいことから、良くなることは考えづらい。
		サービスエリア	新型コロナウイルスの影響がいくらか減少していれば消費は増えるかもしれないが、物価の高騰がより深刻なものとなり、景気を鈍らせると思われるため、やや悪くなっていると判断する。
		ボウリング場	新型コロナウイルスの終息の目途が立たないことに加え、ロシアに対する経済制裁で景気にも支障が出てくると思うので、やや悪くなっていると判断する。
		理・美容店	ロシアのウクライナ侵略で、衣食住に関連したもののすべてが値上げされ出費を控えると思うので、やや悪くなっていると判断する。
		その他	状況が良くなるとは思えない。
企業	農業関係者	輸入品の値上げに歯止めとなる明確な国策が打たれない限り、景気はますます悪くなっていく。	
	製造業（窯業・土石製品）	公共事業に相関の強い会社に勤務しているので、財政難による仕事の減少が心配されるため、やや悪くなっていると判断する。	
	製造業（非鉄金属）	半導体不足の改善が不透明な中、ロシアのウクライナ侵攻により、原材料や燃料の高騰が予想されるため、やや悪くなっていると判断する。	
	建設業	材料高騰により受注減のため、やや悪くなっていると判断する。	
	建設業	今後の3か月先は見通したたず、売上げが減少するのではないかと心配だ。	
	金融業	コロナ禍の長期化による経済活動の停滞に加え、ロシアとウクライナとの紛争により原油が高騰しており、今後更に景気を下振れさせる要素が多く、前向きな要因は見当たらないため、やや悪くなっていると判断する。	
	不動産業	ウクライナ問題、原油高騰による物価上昇に対し、賃金の上昇は追いつかない。既にマンション価格にしても都心部では空室が増えているのに、マンション価格は上昇している。近隣地域も同じような現象が出てくるのではないかと思うので、やや悪くなっていると判断する。	
雇用	民間職業紹介業	半導体の供給不足により、やや悪くなっていると判断する。	
	求人広告	石油価格の高騰の影響で個人、企業ともに余裕がなくなると想定するので、やや悪くなっていると判断する。	
悪	家計	和食食堂	新型コロナウイルスの影響により悪くなっていると判断する。
		理・美容店	新型コロナウイルスやロシアの戦争などで悪くなっている判断する。
	企業	製造業（窯業・土石製品）	先のことは分からないが、接客をしている感じから、しばらくは大金のかかる墓石は控えるのではないかと思うので、悪くなっていると判断する。
製造業（印刷・同関連業）	中小企業・小規模事業者を対象にした経済対策に期待できない。今後の感染症の状況や国際情勢に不安を感じるため、悪くなっていると判断する。		

(5) 県西地域 【先行き】

回答	分野	業種・職種	コメント		
やや良くなっている	家計	商店街代表者	外出が多くなり、購買力が出て景気が良くなると思う。		
		スーパー	まん延防止等重点措置が解除となり、行動制限がなくなるので期待をしている。取引先等の外回りなどが解除の方向となり、多少だが活気が戻ると思われる。		
		コンビニエンスストア	ワクチンの3回目接種の進捗ならびにコロナ慣れによる人の流れが今よりは増えてくることが予想されるため、やや良くなっていると判断する。		
		家電販売店	新生活需要が大学生中心に動きが出ている。去年はオンライン授業メインのためパソコン本体、関連商品しか恩恵がなかったが、7割は対面授業再開との客が多く、一人暮らしを新たに開始する方が大半だ。当然、一人当たりの購入総額も一式になるため上がる。加えて、本年は連休が多く、さらに長期になる年のため大型連休中はより売上げが上がり、やや良くなっていると判断する。		
		小売業（酒類）	まん延防止等重点措置が解除になれば人も動いてくると思っている。飲食店が動き出さないことには、うちの仕事も動きがない。		
		レストラン	まん延防止等重点措置が解かれるので人の流れが戻ってくる。新型コロナウイルスもワクチンが行きわたり落ち着いてきて、人が動き始めると思うので、やや良くなっていると判断する。		
		日本料理店	ワクチン接種が進み、経口薬が出れば良くなるのではないかと思う。		
		道の駅	季節が変わり気温も暖かくなり、ワクチン3回目の接種率が増えてくれば外出する機会が増えて、客足が増加するのではないかと思うので、やや良くなっていると判断する。		
		ゴルフ場	コロナ禍の終わりが見えないのでシニア層の旅行なども少なく、ゴルフ場への来場が増えてくる見通しを立てているため、やや良くなっていると判断する。		
		レジャー施設	新型コロナウイルスが収束に向かっていくと思われるため、やや良くなっていると判断する。		
		商店街代表者	現在は、感染者数が全国的に減少傾向にあり、このまま推移して収束に向かうことが条件となるが、県を超えての観光・レジャー等の移動が活発になる。また、飲食を伴う会合などの制限が緩和し、夏に向けて祭り等の各種のイベントの実施に向けた動きが出てくれば景気が回復に向かうことが期待されるため、やや良くなっていると判断する。		
企業	不動産業	事業用物件の動きが増加傾向なので、やや良くなっていると判断する。			
雇用	求人広告	正直現在の景気については、悪いと感じているが、ここから更に悪くなる要素は考えにくい。ワクチンの3回目接種の浸透を含め、3か月後までに好転する要素はいくつかあると思うので、やや良くなっていると判断する。			
変わらない	家計	衣料品販売店	一般の買物客の来店がないので良くも悪くもならない。		
		自動車販売店	新型コロナウイルスが落ち着くとは思えないので、変わらないと判断する。		
		農産物直売所	春野菜の出荷が始まり景気回復を願いたい、青果物単価の大幅な上昇は見込めないため、変わらないと判断する。		
		食堂	去年の緊急事態後もしばらくは景気回復は見られなかったため、変わらないと判断する。		
		旅行会社	必要最小限の消費行動にとどまると思われるので変わらないと判断する。		
		旅行代理店	コロナ禍が収束してくれることを願っている。少しずつ良くなってくれたのはありがたい。国や県からの助成金が少ないので経費倒れになっている。バスの車検・3か月点検は動かなくても受けなければならない。援助がなければ経営できない。最小台数まで減車しているが厳しい。		
		観光型ホテル	客の動きが完全に止まっている状態なので3か月先は少しでも良くなっていると期待するところだが、周りの情勢が良くなるとは言えないため、変わらないと判断する。		
		道の駅	新型コロナウイルスの感染拡大が懸念されているため、変わらないと判断する。		
		ゴルフ場	現状の来客数や予約状況では、横ばいの見込みと感じる。		
		レジャー施設	新型コロナウイルスのまん延、世界情勢などまだ全体的な不安要素が多く、消費活動も低い水準が継続すると思われるため、変わらないと判断する。		
		理・美容店	感染が落ち着きを見せない限り回復は難しいのではないかと思うので、変わらないと判断する。		
		設計事務所	まん延防止等重点措置の解除等がすぐには影響しないため、変わらないと判断する。		
		企業	企業	農業関係者	しばらくは、新型コロナウイルスの新規感染者が高止まり傾向にあり、依然として外食関係からの青果物等の引き合いが弱い予想。また、米穀関係も同様に海外からの観光客等の入国が見込めないため、販売状況の好転が見込めないため、変わらないと判断した。
				製造業（電気機械器具）	材料等の値上げとリードタイムの不透明感は、まだしばらく続くと思われるため、変わっていないと判断する。
製造業（化学工業）	電子材料受注好調環境は当面は続くという市場情報のため、変わらないと判断した。				
製造業（窯業・土石製品）	良化する見込みはないが悪くなって欲しくない。				
製造業（窯業・土石製品）	ロシアによるウクライナへの軍事侵攻が景気にはマイナスに反応すると思うので、良く捉えても現状維持が最高で、かなり景気に水をさすと考えて経営に当たりたい。				
製造業（金属製品）	部品入手の目処がないため変わらないと判断する。				
製造業（電気機械器具）	中・長期の予測は難しいが、この状況は当面続くと思われるため、変わらないと判断する。				
建設業	特に変化を感じない。				
金融業	飲食店以外の業種において新型コロナウイルスの影響は減少するも、原油価格の上昇の影響により比較的安定していた運送業において悪影響が予想され、変わらないと思慮する。				
サービス業（コンサル外業）	新型コロナウイルス次第だと思いうため、変わらないと判断する。				

変わらない	雇用	人材派遣業	先の依頼はないので変わらないと判断する。
		人材派遣業	新型コロナウイルスの第6波やウクライナ情勢による経済打撃も見込まれるので、先行き不透明なため、変わらないと回答したいのが正直なところである。
		学校就業関係者	生徒数が減少傾向、求人企業数は多いが、業種により人手不足が続くと思われるため、変わらないと判断する。
やや悪くなっている	家計	スーパー	新型コロナウイルスの感染状況も収束の見通しが見えないため、来店客数の減少が起きるようになるので、やや悪くなっていると判断する。
		コンビニエンスストア	新型コロナウイルスの影響により、やや悪くなっていると判断する。
		メガネ・時計販売店	様々なものが値上がりして、その割には給与が上がらず、消費者の買控えが増えると思われるため、やや悪くなっていると判断する。
		設計事務所	さらなる品薄、欠品も影響すると思うので、やや悪くなっていると判断する。
	企業	畜産関係者	世界情勢から考えて、やや悪くなっていると判断する。
		製造業（印刷・同関連業）	材料の値上げが続くため、さらに採算が悪くなると思われるので、やや悪くなっていると判断する。
		製造業（金属製品）	今後3か月の見通しとしては年度末を迎えること、年初の停滞期を迎えることから景気は良くなるとは言えないので、やや悪くなっていると判断する。
建設業	資材の入荷が進まないなどもあり、利益率の減少傾向もあり、景気はやや悪くなると判断する。		
悪くなっている	家計	商店街代表者	毎年同じだが、ゴールデンウィークを境目に売上げは激減するため、悪くなっていると判断する。
		製茶販売	良くなる展望が見られない。
		和食レストラン	ロシア問題に便乗して油、小麦、その他の食品の一律値上げで生活を圧迫するため、悪くなっていると判断する。
		都市型ホテル	まん延防止等重点措置の期間が延長され、来客数、売上げが減少に繋がる。またガソリン、仕入れ食材等様々な物の値上げがあり、経営に対し悪条件しかないため悪くなっていると判断する。
		タクシー運転手	現在のような状態が続くような気がするので、悪くなっていると判断する。
		クリーニング店	新型コロナウイルスの感染者が減るのか分からないし、いつになったら特效薬が完成するのか分からない。景気の良くなる雰囲気がないため、悪くなっていると判断する。
	企業	製造業（非鉄金属）	ロシアが戦争を起こしているため輸入品が入りにくくなっており、材料の相場が乱れてしまっているため、悪くなっていると判断する。
	雇用	求人开拓員	2月に始まったロシア軍のウクライナ侵攻による世界経済の悪化、特にエネルギー不足が広範囲の経済活動を低下させると思うため、悪くなっていると判断する。

Ⅲ 景気の判断コメント — 3 その他の意見

(1) 県北地域

分野	業種・職種	コメント
家計	商店街代表者	当社では金属の取り扱いが主なので4月から取引先からの値上げ通知が止まらずに来ているが、有効期間が30日と短いところが多く、さらなる値上げを予想する取引先がほとんどだ。商いが非常に難しい状態となっている。
	スーパー	ウクライナ情勢、新型コロナウイルスの感染拡大の高止まりなど明るい材料がなくなっている。
	スーパー	夫婦で来店し、これは買わない、これは安いので買うなど家庭内で価格にシビアになっている。
	酒・各種商品小売業	飲食店は余裕、飲食店に酒を納品している業者は死活問題だと思う。
	小売業（弁当・惣菜店）	ガソリンの値上げが進んでいることが不安になる。また、それ以外でも緊迫した国際情勢からも輸入品の不足、値上げの影響が出てきてその対応に不安がある。
	小売業（水産物）	飲食店主の声として物価高騰と新型コロナウイルスの影響が多めで経営に不安感が増している話をよく聞く。仕入れも魚はもちろん消耗品まで高騰していてとても大変だ。
	小売業（時計）	ロシア・ウクライナの件がガソリン、食料品などへ影響し、ボディ全体に関わってくると思われる。
	日本料理店	県外からの客は増えている。
	スナック	ショッピングセンター等は人が溢れてるが、飲食店は酷い状態だ。
	日本料理店	原材料の値上がりにともない、いくつかの同業店では4月から商品価格を値上げするという話が出ているので、短期的に客足が鈍ると思われる。自店では値上げの予定はないが、多くの外食店が値上げを実施すると、外食そのものへのモチベーションが下がるのではないかと懸念している。
	食堂	スタッフはもちろん、周りの人も物価上昇の懸念をしている。
	観光型ホテル	新型コロナウイルスの影響で客数が少ない。
	観光型ホテル	近隣のショッピングセンターなどに出かけると、週末は車を停める場所に困るほどの人出になっている。一昨年や昨年よりも「外での消費」が増えてきているように感じる。
	タクシー運転手	ガソリン高騰。駅前の大型店舗閉店。
	ドライブイン	ガソリンも安くないので、平日は特に客が少ない。天気には恵まれているのに残念だ。
	レジャー施設	新型コロナウイルスの感染者数が高止まりしているためか、出控えによる近隣のスーパー等はやや客足が減っているように感じる。また、ガソリン価格の高騰のためかガソリンスタンドもいつもより空いている。
	ゴルフ場	若い人の人流が増えた気がする。
	ゴルフ場	まん延防止等重点措置などに伴った規制における自粛は限定的。
住宅販売会社	賃貸で斡旋業も行なっているが、今まで家賃補助を出していた企業が金額見直しをして来ている。高く見直しではなく、金額を落とす見直しである。	
企業	林業関係者	燃料の高騰による経費増はどの業界にも通ずることと考える。早急な落ち着きを期待したい。
	水産業関係者	現在の情勢の雰囲気を引きずっているようにみられる。
	製造業（電気機械器具）	車のガソリン代が高騰している。
	製造業（電気機械器具）	納期が見通せない物品がある。LEDの照明器具については、メーカーからの納期回答が出ず、入替が計画通り進まない状況である。
	製造業（化学工業）	原材料やエネルギーの価格が上昇して収束の目処が立たない。
	製造業（電気機械器具）	材料の入手困難となる情報からか、客から手配される納期が3か月以上のものが多くなっている。
	製造業（一般機械器具）	アメリカの利率引上げ、ロシアのウクライナ侵攻による原油高、それら要因による物の値段の上昇、引き続いての半導体不足による電子品の納期遅延。少しずつだが、物価上昇の様相があると感じている。
	金融業	引き続き、建設業について急な工事受注増加から人手不足・外注先不足が見受けられる。
	情報通信業（情報サービス業）	従来からの仕事（案件）の継続はあるが、新しい仕事が多く流通しているとは思われない。成長があまり見込めていない。
運輸業（精密機器運送）	新型コロナウイルス対策の補助金が、時短対応している飲食店、18歳未満の子どもがいる家庭などには何度も配布されているが、対象外には全く配分がないため、収入の差が大きくなっている。	
雇用	求人広告	何を優先するのか分からない世情のままでは、良いも悪いも判断出来ず難しい。
	学校就業関係者	学生の実習消耗品の購入にあたり、コロナ禍の影響で、中国や東南アジアで製造している電気・電子機器類及び金属材料の値上げや納品の遅れが顕著になっている。
	求人開拓員	毎回の事だが、水戸市西部地区に於いてはJRの駅舎新築工事や杉林の伐採宅地化等、人口も急増している。

(2) 県央地域

分野	業種・職種	コメント
家計	商店街代表者	例年であれば年度末の需要期だが、新型コロナウイルスの影響下にあった一昨年や昨年と比較しても今年は厳しい状況だと思う。
	小売業	食料品・生活用品の相次ぐ値上げと今後の値上げ発表を受け、スーパー・ホームセンター等、量販店でのまとめ買いが目立つ。光熱費・燃料費の上昇継続も懸念されており、物価上昇への対策として、保守層中心に生活必需品以外の買控えが懸念される。
	小売業	コロナ禍による行動範囲の縮小により、都内等での買物を県内で済ます傾向が今も続いている。
	割烹料理店	まん延防止等重点措置のため人の動勢が少ないので何をしてもうまくいかない。
	農産物直売所	客の来店数の波はあるが、多くても店内で買物かごを持たず、1~2品買上の客が目につく。
	レストラン	まん延防止等重点措置期間中でも、後半は利用者が増えた。
	観光型ホテル	他県ナンバーの車は週末でも少ないように感じる。
	旅行会社	本当にコロナ禍で大変だ。
	タクシー運転手	新型コロナウイルスの感染者が非常に身近に迫っていることが、自粛ムードに拍車をかけている。しかしながら、規模を縮小しながらの対面の集まりも少しずつ増えているので、この先期待したい。
	タクシー会社	新型コロナウイルス感染症の影響は、企業・一般家庭に大きな打撃を与えている。企業は経費削減に全力で取り組み、設備投資も控えているとのことだ。一般家庭においても買物等必要最小限に抑えて、高齢者等の通院回数も減らし、交通手段も極力自力で行動するなど出費を抑えている。景気回復には、人流が必要不可欠であると考えるが感染対策に万全をつくり、規制緩和をお願いしたいと考える。
	道の駅	人との接触が少ない業種は伸びている感触がある。うちで言うならキャンプする人が大幅に増えている。ハイキングや登山も若干増えている。
	スーパー銭湯	2月から3月は県内の新型コロナウイルスの陽性者や濃厚接触者が極めて多かったことから、出かけたくても出来ない人が増えてしまった。また、感染したくないという思いから外出行動に抑制がかかってしまったと思われる。新型コロナウイルスの感染拡大が収束に向かえば景気は良くなると考えている。
	スーパー銭湯	燃料や食料品のみならず、あらゆる物が値上げされてきている。また、部品などの納期未定などが多発してきている。なんとか凌いでいるが今後の営業に大きな支障が出かねない。人手不足ではあるが、面接等に生活困窮者などの応募が多く来る。経済格差を実感している。
	レジャー施設	ウクライナ情勢によりエネルギー価格の高騰に比例して物価も上昇していることから、日用品の購買意欲が落ちてきているように感じる。
	ペット美容室	今まで興味がなかった株式投資を始める方が増えている。
設計事務所	不動産会社などによると、県内の分譲地の売行きに、以前より地域差が出ているとのことである。	
企業	製造業(食料品)	観光系飲食店が依然として厳しい状況にある。
	製造業(印刷・同関連業)	身の回りの景気についても良い報告は、聞いていない。
	製造業(印刷・同関連業)	特段動きはないが、このままでは中小企業には非常に厳しい状況である。
	製造業(窯業・土石製品)	墓石や神社関係の仕事が新型コロナウイルスの影響で激減している。
	製造業(一般機械器具)	感染力の強い新型コロナウイルスの影響で、陽性者や濃厚接触者が出てしまうと、リモートの出来ない製造業では仕事が止まってしまい売上げ減少になる。定義を変えて行かないと国力低下につながる。ウクライナ情勢、サイバー攻撃など物価上昇やサプライチェーンの混乱は続きそうだ。
	製造業(精密機械器具)	昨年度の秋頃から、ロシアのモスクワにある新規代理店との契約交渉が進行していたが、ここに来てウクライナの問題が発生し、弊社の海外商社がロシアとの一時取引停止を宣言したので、弊社もそれに倣う事になった。
	建設業	仕事、業種柄不安な中の備えを考えている、購買の変化を感じる。
	運輸業(道路貨物運送業)	燃料価格やタイヤ価格の高騰により、物流業界は経費が嵩み利益を上げることが困難と感じられる。ドライバー不足も深刻で、目前に迫っている働き方改革により収入目的のドライバーは転職を考えている。
	金融業	市内大手デパートでは、感染対策を講じながら各種イベント等により集客を図っており、巣ごもりの反動のせいか、客単価が大きくなっている様子。
	不動産業	オミクロン株の流行によるまん延防止等重点措置で一時的に客足が減ったときは非常に困った。
建設業	急に景気が良くなるとは思えないが1~2年の間に変化する必要がある。業種を問わずなんでもやっていかなければ生活できないため今から準備に入っている。	
サービス業(コンサルタント業)	ウクライナの影響がいずれ出てくると思われる。	
雇用	公共職業安定所	緊急事態宣言、まん延防止等重点措置で解雇等を行ったところが徐々に人手不足になり、求人活動を再開している。
	学校就業関係者	ガソリン価格が急騰している。コロナ禍もあるが、外出距離を短くしたり、回数を減らすなどガソリン消費を減らすことになる。これに伴い、消費も伸び悩み、景気はやや悪くなっていると感じている。

(3) 鹿行地域

分野	業種・職種	コメント
家計	スーパー	自社商圈の中でドラッグストアの出店が増加し、売上げ減少の影響が出ている。また、ロシア・ウクライナ問題や新型コロナウイルスによる各種原材料原価や石油価格の高騰により、あらゆる経費が増加傾向にあるため、景気の見通しは明るいものではないと想定する。
	コンビニエンスストア	日曜日に近隣のスポーツ大会、イベント等がなくなったことにより朝夜の売上げが下がっている。
	衣料品販売店	ガソリンや食料品といった生活実需品だけでなく、全てのものが値上がりしている。洋服などへの出費は二の次といった状況である。
	農産物直売所	ガソリンが高騰してから、明らかに客足が減った。
	小売業（薬品店）	3回目のワクチン接種で、解熱鎮痛薬が売れている。
	小売業	ガソリン・食品、色々なものが値上げになっているし、思うように手に入らない商品もあるようだ。
	洋食食堂	食材の値上げが続いている。特に牛肉、豚肉の値上がりは数パーセントではなく、何割の世界になっている。
	割烹料理店	ロシアとウクライナが戦争状態で、その影響で物価の高騰や不足などが起きている。
	日本料理店	美容業界などが忙しいと聞かすが、飲食業に関連する所は落ち込んでいる。
	運転代行	新型コロナウイルスが早く落ち着くことを願っている。落ち着かない限り、景気も良くなるのではないかと思う。
	旅行代理店	燃料費等の高騰。
	タクシー運転手	オミクロン株だけが原因とは言えないが、給料も現状大幅に減少しているのが実情。現状では難しいかと思うが、若い人も安心して仕事ができる職場作りが必要だと思う。
	レジャー施設	商品の値上げラッシュ前の駆け込み需要で、消費は一時的に上昇するが長くは続かない。どの業種も値上げ前の商品の買いだめが目立つ。
	クリーニング店	現役で働く人が少なくなり、退職者が増えている。高齢化が進んでいる。
住宅販売会社	資材高騰、住設部材納期未定により住宅リフォーム等の客へ大変迷惑をかけている。	
企業	農業関係者	新型コロナウイルスの影響もあり外出を控えている中、最近のガソリン価格の上昇は、車での外出をさらに減少させることになり、ストレス発散をさせることが難しくなっている。
	製造業（化学工業）	大手鉄鋼メーカーとの取引が不安定だが、短期的には忙しさがある。
	製造業（食料品）	水揚げ不調による鯖価格の上昇があり、水産製品の値上げが諸物価の高騰と重複したことで全体的に国内消費の低迷に繋がるかどうか。
	製造業（金属製品）	ウクライナの状況によってレア資源が不足するのとインフレになると思われる。
	建設業	決算月を迎え、経費の無駄遣いを押さえようという風潮になっている。
	建設業	高齢化社会への不安が多く、個人資産の蓄えを優先する方が多く、個人の消費・新規事業を始める人が少なく、今後も数年にわたり、景気の低迷は続く可能性があると思われる。
	金融業	ウッドショックやロシア危機による原油高の影響により、あらゆる資材等が高騰していると聞いているが、住宅ローンの新築に関する相談は増えているように感じる。
	保険業	売地の看板が目立つ。
雇用	サービス業（会計事務所）	当市内にてプレミアム付き商品券の販売回収も終了、また、子育て・長寿支援としての商品券も間もなく換金終了となる。コロナ禍の中、市内小規模事業者にとっても、消費者の消費喚起と事業者の売上げ寄与に役立つことが出来たのではと考えている。
	求人開拓員	原材料価格の上昇や逼迫が起き、国内製造業への影響が顕著にあらわれている。全ての物が値上げになっていることを実感するようになった。

(4) 県南地域

分野	業種・職種	コメント
家計	家電販売店	外食などほとんど行かないので分からない点ではあるが、時々行った時など客数が以前より減っている気がする。
	スーパー	必要な物を必要最小限で購入している。買物の回数を減らし、まとめ買いをしている。
	農産物直売所	通勤途中でダンプカーがたくさん走っているが、建設現場に行くのだろうか。土建業が潤うのだろうか。
	小売業	飲食・レストランについては、家族や友人等との会食は増えている。昨年は一斉に自粛するムードがあったが、大切な人とのライフイベント等については、慎重ながらも機会が増えている。年末年始も大きく回復し、春休み・GWなどはコロナ前の状況に戻ると感じる。
	衣料品販売店	旅行やグルメが春になり正常になれば、みんなハッピーになる。
	小売業（米穀）	リモート会議や書面決議等で対面で集まる機会がなくなり、飲食の機会がかなり減ったようだ。ロシアのウクライナ侵攻の影響も今後出てくると思う。鶏卵業界も厳しそう。
	和食食堂	一組の人数が増えている。まん延防止等重点措置の内容を知らない方もいる。
	洋食食堂	当店の客はここ1～2年でたくさんの業種で経営を成功させている。足場に始まり保育園、トレーニングジム、エステ関係等。障害をもっている方を何人も働き手として採用している会社が同じ通りで3か所ある。
	寿司店	新型コロナウイルス対策で営業時間が8時、または9時になったりで大変だ。当店では2月10日までは8時までアルコール抜きで営業してきたが、客からアルコールを飲ませてほしいとの要望が多数あり、営業時間中はアルコールOKとした。少しずつ客足が戻ってきたが、家で飲む習慣が身につけてしまったとのことで残念だ。
	都市型ホテル	3回目ワクチン接種で第6波を抑えられ新年度を迎えたいとセールス先で各企業からお話をいただくが、第7波が来ると懸念され、戻るのはいつだろう。戻ってもコロナ前より7割か8割というところではないかと同業者。婚礼も少人数化が進み、飲み会は今のままでやらなくても良いという人も増え、宴会の減少が見込める。今後しばらくは厳しい状況が続くと思う話題が多い。
	都市型ホテル	客との会話の中で、以前より新型コロナウイルスの話題が少なくなってきて、スーパーマーケットで販売しているお惣菜等の売れ残りが少なくなってきたような気がする。タバコの料金が以前より高いのに喫煙者は減っていないようだ。あちこちで道路工事が多く工事期間がやけに長いように感じる。
	タクシー会社	小学校や保育園の学級閉鎖や学校閉鎖がすごく多い。ほとんどの保育園や小学校が閉鎖になっている。
	サービスエリア	好天の日の週末に観光客の動きがやや活発となった。一方、原材料費の高騰から店舗の値上げが収まらない状況となっている。
	企業	ゴルフ場
ゴルフ場		来場者は減ってはいない。ただ大きなコンペなど人が集中するようなものは、なかなか実施までこぎつけないようだ。この辺が難しいところだと思われる。
テーマパーク職員		屋外型のレジャー施設を新たに新設したいという問合せが、民間、自治体ともに多く耳にするようになってきている。コロナ渦でも集客、収益を出せるような仕組みに切り替えようというようにも感じられる。弊施設のような屋外型でアウトドアという業種には景気が良くなっていく傾向にあるのではと思う。
理・美容店		需要のある飲食店が時短営業で不利益になる一方、需要のない飲食店が、協力金バブルなるワードで踊っている姿をみるのは不愉快だし不平等だと思う。
農業関係者		現在においては、新型コロナウイルスの影響が多大であり、例年との比較は困難である。今後の予測もどう変わるのか分からない。
製造業（窯業・土石製品）		建築、土木などの話を聞いても良い話など出てこない。
製造業（飲料）		燃料費の高騰にびっくりしている。
製造業（印刷・同関連業）		仕入れコストの増加にも関わらず、「なかなか値上げに踏み切れない」などの声をよく聞く。
製造業（その他）		ロシアの戦争により輸出が止められ、そちらの方面は全然ない。
製造業（窯業・土石製品）		新型コロナウイルス感染者の高止まりにより、外食や外出の手控えで消費が下がっているところに、食品関係を始めあらゆる商品が値上げとなってきている。可処分所得が増えないと今後厳しい状況になるとと思われる。
企業	製造業（非鉄金属）	原材料の高騰。
	建設業	同じ市町村内にある知り合いの不動産屋3社が3月いっぱいまで廃業するという。3社とも個人営業で代表が団塊の世代だ。後継者がいないので、廃業してゆっくりした老後を送ると言う。我が社もあと数年後には廃業を考えなければならないが、その前に借金をゼロにしないとイケない。
	建設業	設備工事業としては部品、製品、電線材等の品不足に納期が出ず、客に回答できずに作業に滞りをきたしている。物によっては4月から値上げとのことだ。でも発注してくれる客がいれば景気も変わらないかもしれない。今現在、発注して1～2か月待ち。物によっては納期が出来ないものもある。景気が良くなることを祈って頑張る。
	金融業	新型コロナウイルス感染拡大によるテレワークの普及などにより、都心からのアクセスが良いベットタウンとして、「転入超過」に転じており、新築・中古住宅の売行きは好調である。
雇用	求人広告	介護業界や運送業は好調に感じる。

(5) 県西地域

分野	業種・職種	コメント
家計	商店街代表者	コロナ禍が長引く中、ロシア対ウクライナの戦争で世間が騒がれているためか、個人の路面店には必要最小限の買物客しかこない。
	商店街代表者	衣料品店を営んでいる友人がどうにもならない。毎日閑古鳥。と嘆いていた。あれほど繁盛していた店だったのと思うとかわいそうだ。
	スーパー	コロナ禍疲れが出ているようである。買物ひとつとっても楽しんで買い物している様子は見られない。
	スーパー	仕入れ値、販売管理費、光熱費等の値上げの状況が、月を重ねるごとに増している。
	コンビニエンスストア	新型コロナウイルスの影響により、夜から深夜の客数が減った。
	コンビニエンスストア	都内に勤める人や学校においてはリモートなどが定着している様子なので、主に平日を中心とした朝晩の人の動きは新型コロナウイルス前と全く同じにはならないと認識している。
	家電販売店	長く商品販売中止になっていた電話・ファックスが一部販売再開になったり、ドラム式洗濯機も納期が60日→2週間前後になるなど半導体の影響が改善されている。
	小売業（酒類）	飲食店への補助金対応にみな不公平感を感じている。
	レストラン	戦争、物価高、新型コロナウイルス等先行きが見えない。先行きが不安である。
	日本料理店	パートやアルバイトが集められるか心配だ。
	食堂	新型コロナウイルスの影響で店の経営が回復しないため、店の体力が限界になり近隣店舗が閉店している。
	和食レストラン	車や人の流れが減った。昼も夜も客数が少なく、外食離れを感じる。
	旅行代理店	ウクライナとロシアの戦争が始まり、燃料が高くなった。物品も高くなってきている。今後、品薄になってくるかもしれない。不安だ。
	タクシー運転手	市がタクシー代を一部負担しているため、ワクチン接種者が多く乗車している。
	観光型ホテル	周りの情勢が変わらないと売上げがゼロに等しく、材料や燃料などが値上がりする中で値上げをすることはさらに入客数を減少させることになるので出来ない。利益率は減少する一方である。
	ゴルフ場	勤務や買物等、徐々に人の外出は増えているように感じる。
	ゴルフ場	土地の売買など不動産業界が活発になっているような印象だ。
	商店街代表者	昨年からのガソリン価格の高止まりが続いており、また最近の輸入消費財の価格の上昇が一部の品目で見られる。この値上げラッシュは、家計に与える影響は少ないようである。
設計事務所	物がなく、仕事にならない。	
企業	畜産業関係者	飼料や原油価格などの高騰など。
	農業関係者	全般的に様々な活動が新型コロナウイルスの影響により自粛の動きが依然として強いことから、景気が良いとは言えない。
	製造業（窯業・土石製品）	梱包資材業者より来月から値上げの話があり、セラミックス原料についても毎年のように値上げとなり、とても厳しい状況。ガソリン等の高止まりによる配送業者の値上げが来る事が予想され、更に厳しくなる感覚がある。
	製造業（非鉄金属）	ガソリンの高騰。
	製造業（化学工業）	輸出物流の逼迫・値上げと材料値上げの負担増。
	製造業（窯業・土石製品）	車で走っているところでも飲米袋の高騰50%を運搬しているのが目につく。特に若い人、若い女性が多く見られる。購入し維持出来るのだから現在の日本は景気が悪くないし、良いのだろう。ちなみに私は10年以上乗用車を買換えていないし、出来ない。
	製造業（金属製品）	材料費の値上がりにより毎日のように価格見直しの交渉を行っている。
	建設業	燃料の高騰により、資材全般の値上がりはどこまで進むのかが問題。
	金融業	原材料・原油価格の上昇が予想され、今後について価格の不安定が不安であるとの声が聞こえる。
	不動産業	建売メーカーが仕入れを強化している。
サービス業（コンサルタント業）	運転代行や飲食店等、新型コロナウイルスの影響をもろに受けて、事業縮小や廃業をしているところがチラホラ出てきた。	
雇用	求人広告	業種問わず、WEB関連のモノ・コトを取り入れたり予算を使う企業が増えた気がする。HPのリニューアルやSNS広告、キャッシュレス決済など。世代の移り変わりと共に受け入れられるようになったのかもしれないが、「景気が悪い状況でも出来ることをしていこう」という意識は感じる。
	人材派遣業	弊社に限った事かもしれないが、食品加工・製造企業からの派遣依頼が増えている。
	学校就業関係者	物価の高騰（食品・雑貨・ガソリン燃料）。
	求人开拓員	人手不足を訴える企業（建設・土木業、福祉事業所）から当所の求人票登録のための訪問が多かった。